

第一五 國道四號線(梅島)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算八十七萬八千七十六圓ヲ以テ東京府下南足立郡梅島町字小右衛門新田ヨリ同郡淵江村字保木間ニ至ル延長三千三百二米六ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後千住町字八千代ヨリ梅島町字小右衛門新田ニ至ル一千九百八米八ヲ追加シ延長五千二百一十一米四トシ工費ヲ六十一萬五千五百三十六圓ニ改メ施行スルコトナレリ

計畫大要

四號國道ハ東京ヨリ埼玉縣越ヶ谷町及栗橋町ヲ經テ北走シ栃木縣宇都宮市ニ至リ遠ク北海道ニ至ル樞要幹線ニシテ陸羽街道俗稱日光街道ノ名アリト稱ス比年交通運輸激甚ヲ加ヘ爲メニ交通上ノ安全ヲ保シ難キ狀態ニアリ而シテ前記改良路線ハ舊道ニ竝行シテ附替新設スルモノニシテ現道路ノ有効幅員ハ概ネ五米五乃至六米八ニシテ道路兩側ハ人家連擔シ加フルニ幅員狹隘ニシテ交通ノ圓滑ヲ缺クモノ尠少ナラズ之ガ改良ハ夙ニ唱道セラレシ所ナリ

新設ノ路線ハ現在路線ノ東京約四百米ヲ隔テ稍之ニ竝行シ都市計劃委員會ニ於テ決定セシ新路線ニシテ計劃幅員ハ二十五米其中央十六米六ヲ車道トシ兩側四米二ヲ步道トシ歩車道境界石ニ依リテ之ヲ區劃ス車道ハ橫斷勾配四十分ノ一拋物線形トシ中央十五米四ハ二層式ニシテ基層厚十五糎ニ鐵網入一、三、

六、セメントコンクリート表層厚五糎トペカ瀝青コンクリート鋪設ヲ爲スモノナリ車道ノ兩側ニハ各六十糎ノ街渠ヲ設ク其構造ハ基礎厚十五糎ノ一、三、六、セメントコンクリート上層厚五糎ノグラノリシツクコンクリートヲ施シ表面ニ二十分ノ一ノ横斷勾配ヲ附シ縱斷距離約二十五米毎ニ街渠枳ヲ設ク歩道ニハ横斷勾配五十分ノ一ヲ附シ中央一千二百米ニコンクリート平板三枚ヲ竝列鋪設シ其兩側ハ砂利敷トス而シテ歩車道境界石ニ接シテ約八米毎ニ街路樹根圍ヲ設置スルモノトス

車道及歩道ニハ横斷勾配ヲ附スル外更ニ縱斷勾配最緩六百分ノ一最急三十五分ノ一（延長百六十四米）ヲ附シ以テ急速ナル路面排水ヲ計レリ街渠ニ集マレル水ハ枳ヲ經テ歩道下ニ埋設セル縱斷管渠ニ收容シ附近ノ水路ニ排流セシム管渠ハ内徑三十八糎ノセメントコンクリート管ヲ用ヒ約六十米毎ニ人孔ヲ設ケテ掃除及修繕ノ便ヲ計ルコトトス

東武鐵道横斷箇所ニハ道路ノ中央六米六ニ跨線橋ヲ設ケ以テ高速度車輛ノ交通ニ便ナラシメ其兩側部ニハ低速車道五米七及歩道三米五ヲ設ケ鐵道ヲ平面交叉ニ依リ横斷セシムル計畫ナリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十一日梅島町役場内ニ假事務所ヲ設ケ同月十六日ヨリ事務所敷地地均シヲ開始ト共ニ工事用器具機械ノ搬入等施工準備ニ著手シ同月二十九日新事務所完成シタルヲ以テ之ニ移轉シ五月十八日ヨリ工事ニ著手セリ其後千住町字八千代ヨリ梅島町字小右衛門新田ニ至ル延長一千九百八米八ヲ追加施工スルノ議決定セシモ東京府ニ於テ買收提供スベキ用地ノ一部ガ府財政上ノ都合ニ依リ實行不能ニ陥リタル爲メ該部分ハ七年度ニ繰越シ國ニ於テ買收シ併セテ工事ヲ施行スルコ

トナレリ

施工區域ハ之ヲ三工區ニ分チ各區ニ見張所ヲ設ケ先ヅ盛土用土砂採取及運搬ヲ開始シ切取土砂一千三百立方米ノ外ハ東京府千住町、同西新井町及同江北村地先新荒川低水路ニ於テ浚渫船ニ依リ成ルベク砂多キ土ヲ採取シ之ヲ唧筒式土揚船ニテ現場附近ニ鐵管輸送ヲ行ヒ一時堆積ノ後二十噸機關車及五合積土運車ヲ用ヒテ盛土箇所へ運搬スルノ方法ヲ採リ十一萬九千百立方米ヲ採取セリ斯クテ年度内土砂運搬十萬二千五百九十五立方米、盛土八萬五千八百五十立方米ヲ施工シ其他ハ翌年度へ繰越トナレリ而シテ盛土ニ當リテハ可及的基礎ノ鞏固ヲ期スル爲メ車道敷地ヨリ表土ヲ搔キ取リタル後ハ全線ニ互リ道路片側分宛盛土ヲ施工シ土砂ノ沈下固定ヲ計レリ其運搬距離ハ二百米乃至四千五百米ニシテ盛土法面ハ何レモ一割五分勾配ニ仕上ゲ小右衛門新田、保木間間ニ限リ法面ニ芝付ヲ施シ又法足ニハ土留又ハ板柵工ヲ施セリ板柵ハ敷地買收區域ト道路幅員トノ關係上盛土部分ノ道路兩側ニ土留擁壁ヲ要スル箇所ニ之ヲ設ク本道路沿線ハ遠カラズ埋立テラレ市街地ヲ爲スニ至ルハ想像スルニ難カラズ其時期至ルト共ニ擁壁ハ自然其要無キニ至ルト及工費節約等ノ爲メ永久的施設ヲ避ケタルモノニシテ昭和六年七月全線ニ互リ著手シ年度内延長六千二百二十五米七ヲ完成セシメ殘百十四米ハ翌年度へ繰越トナレリ排水管渠及溝橋工事ハ路面工ニ先立チ同年七月著手シ前者ハ内徑三十八糎コンクリート管ヲ用ヒ歩道ノ中央地下四十五糎ニ埋設セリ

其最急勾配四百分一、最緩一千八百分ノ一ニシテ通水上支障無キヲ期セリ年度内六千四百三十六米二ヲ完了セシモ殘リ四十四米ハ敷地買收ノ關係ニ依リ翌年度へ繰越トナレリ之ト相竝ビ施工セシ溝橋及水路移設工事ノ内溝橋ハ内徑一米八函渠五箇所、二米二函渠三箇所、三米五床版橋二箇所、四米ラーメン橋一

箇所内徑三十八糎コンクリート管六箇所アリ水路移設ハ底幅二米七、延長百四十米一箇所ニシテ何レモ七年三月竣功セリ

路面工ハ盛土ノ自然沈下ヲ俟チ九月著手先ヅ車道ハローラー七臺ヲ以テ二十五回乃至三十回反復輾壓ヲ行ヒ年度内六萬八千三百三十一平方米ヲ竣成シ車道鋪裝ハ淵江村地内ニ於テ延長一公里ニ亙リ基層コンクリート工事ニ著手セシモ未竣功ニ終レリ

而シテ街渠及街渠柵ハ車道輾壓ノ未ダ完了セザル前之ガ設置ヲ了シ街渠延長六千五百八十五米及柵二百三十一個ヲ完成セリ

歩道ニハ中央ニ歩道板敷設兩側ニ砂利敷及道路境界石敷設、街路樹根圍等ヲ施工シ延長三千百八十米ヲ竣功セリ而シテ境界石、歩道板、街渠柵縁石、街路樹根圍石等ハ凡テコンクリート直營製作ヲ行ヒ七萬七千九百四十九個ヲ作成使用セリ

本事業ハ其主旨トスル處失業者救済ニアルヲ以テ成ルベク機械力使用ヲ避ケ専ラ人力ニ依ルコトトセリ使用機械ノ主ナルモノハ輾壓用ローラー、コンクリート、ミキサ、浚渫船、土運搬用機關車等ナリ

而シテ本事業ニ依リ救済サルベキ豫定延人員ハ十八萬四千八百二十二人ニシテ昭和七年三月末日迄ノ實際使用人員ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ十一萬四千二百二十四人其他ニ依ルモノ五萬九千百四人合計十七萬三千三百二十八人トナリ工事完成迄ニハ豫定人員ヲ超過スル筈ナリ

本年度竣功高ハ五十六萬八千三百八十一圓ニシテ豫算六十一萬五千五百三十六圓ノ九割二分ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數	量	數	量	數	量		
道								
其他			1103.113				1103.113	0.87
土地買收費			218,588				218,588	0.92
物件移轉其他補償費			115,000	八段			115,000	
器具機械費			26,770				26,770	
雜費			82,240				82,240	
共濟組合給與金			11,041				11,041	
總計			568,381				568,381	0.91

第一六 國道四號線(宇都宮)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算九萬四千七百圓ヲ以テ上河原町ヨリ新石町ニ至ル延長一千六百五米ノ改良工事ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費ヲ八萬九千七百圓ニ減額施行スルコトナレリ

計畫大要

本國道中宇都宮市ハ帝都ト東北地方ヲ連絡セル重要地點ニシテ交通頗ル頻繁ナルガ故ニ在來ノ砂利道ニテハ維持困難ナルヲ以テ之ヲ步車道ニ區別シ鋪裝ヲ施行セントス

本計畫ニ於テハ在來道路幅員ハ相當廣キヲ以テ擴張スルコトナク單ニ步車道ヲ區別シ車道十米九、步道兩側各二米、七三ト爲シ在來側溝ヲ合シ總幅十八米アリ次ニ路面鋪裝ハ車道ハ二層式コンクリート厚十八糎ト爲シ步道ハ方三十六糎厚六糎ノコンクリート平板ヲ張詰メ排水設備ハ步車道境界線ニL型街渠及街渠枳ヲ設ケ排水管ニ依リ兩側在來ノ側溝ニ排出スルモノトス而シテ縱斷勾配ノ最モ急ナル箇所ハ池上町ヨリ傳馬町ニ至ル延長百三十六米ノ區間二十五分ノ一最小ハ六百分ノ一ニシテ大工町地先延長百米ノ區間ナリ

而シテ電柱及街燈等ハ總テ車道寄ノ步道上一定ノ箇所ニ移轉セシメ水道鐵管及瓦斯管ノ如キ地下埋設物ハ出來得ル限リ步道下ニ移轉セシムルモノトス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十一日假事務所ヲ栃木縣廳内ニ置キ同月十六日ヨリ實地測量及土工器具機械ノ聚集等施行準備ニ努メ傍ラ事務所ヲ物産陳列所構内ノ一隅ニ建設シ竣功ト同時ニ之ニ移轉シ五月二十四日先ヅ上河原町路床工ニ著手セリ同所ハ商業ノ中心地點ナルヲ以テ交通ノ安全竝ニ地先店舖營業上ノ影響ヲモ考慮シ片側ヅツ施行スルコトセリ即チ在來ノ砂利道ヲ計畫路盤高迄約一尺掘下ゲ輾壓ヲ施シ以テ基礎路盤ヲ作ルモノニシテ之ガ掘鑿ヨリ生ジタル砂利及玉石等ハ大部分ヲ路床基礎用材ニ充當シ土砂ハ希望者ニ下附シテ搬出セシメタリ而シテ路盤ニハ舊路盤掘鑿ヨリ生ジタル玉石ヲ十五糎厚ニ敷均シ以テ六噸乃至十噸半輾壓機ニ依リ七回乃至十五回ノ輾壓ヲ行ヒ更ニ目潰材トシテ砂利ヲ撒布シ不陸ヲ直シ二噸四分ノ一輾壓機ニテ輾壓シ所定高ニ仕上ゲヲ爲セリ

路床ハ大體前述ノ如クナルモ在來道路ハ市街ノ發展ニ伴ヒ順次幅員ヲ宅地跡ニ擴張セシ爲メ所々ニ惡水溜井戸跡、芥溜或ハ家屋建築當時ノ木屑等埋沒セルアリ是等ハ全部掘返シ眞土ト入替ヲ爲シ充分搗固メヲ爲セリ

路面ハ在來ノ砂利道ヲ歩車道ニ區別シ各鋪裝ヲ施スモノトス

車道鋪裝ハ下層ヲ砂利コンクリート（配合一、三、六、厚十三糎、上層ヲ碎石コンクリート（配合一、一、五、三、厚五糎ト爲シ歩道鋪裝ノ基礎路盤ハ在來路面ヨリ約二十糎乃至三十糎ヲ掘下ゲ道路掘鑿ヨリ生ジタル砂利ヲ敷均シ手押ローラーニテ輾壓ヲ行ヒ更ニ砂ヲ三糎厚ニ敷均シコンクリート平板（三十六糎角厚六糎）張立テヲ施セリ斯クテ少許ノ跡片付ヲ殘シタル外諸工事ハ豫定ノ通り竣功セリ

本工事ニ依リ使用スベキ労働者豫定延人員ハ四萬千五百五十五人ニシテ年度末迄ニ使用シタル實際人員ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ三萬七千二十八人其他ニ依ルモノ五千五百三十一人、合計四萬二千五百五十九人トナレリ

本工事竣功高ハ八萬七千七百七圓ニシテ總工費豫算八萬九千七百圓ノ内千九百九十三圓ヲ翌年度へ繰越スコトトナレリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事道				88,084.80 円	1,125.50 米	88,084.80 円	100%
工事費				2,002.00 円		2,002.00 円	100%
物件移轉其他補償費				1,118.00 円		1,118.00 円	
器具機械費				11,331.00 円		11,331.00 円	
雜費				10,481.11 円		10,481.11 円	
共済組合給與金				8,478.00 円		8,478.00 円	
總計				117,382.91 円		117,382.91 円	100%

第一七 國道四號線(黑磯)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算十九萬一千三百圓ヲ以テ栃木縣那須郡黑磯町大字黑磯ヨリ同郡那須村大字高久ニ至ル延長九百三十五米六ノ四號國道(晚翠橋百二十六米ヲ含ム)及高久地先縣道三百一十一米四計一千二百四十七米ヲ施行スル豫定ナリシガ其後路面鋪裝其他追加工事等ノ爲メ二萬圓ヲ増額シ二十一萬一千三百圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

本地點ハ所謂陸羽街道ノ衝地ニシテ且那須御用邸ニ通ズル縣道ノ分岐點ナルヲ以テ行幸道路トシテ重大ナル路線ナリトス

本工事中主要ナルモノハ那珂川ニ架セル晚翠橋ノ架換工事ナリ現橋ハ大正十二年六月ノ竣功ニ係リ幅員五米五ノハウトラス型木橋ニシテ既ニ損傷腐朽甚シク加フルニ現取付道路ハ屈曲多ク約二十分ノ一ノ急勾配アリテ危險甚シキ現狀ナルヲ以テ夫ヨリ約七十米下流ニ架橋シ黑磯町ヨリ直線ヲ以テ結ビ付ケ且路面ハ高ク築立テ勾配ヲ著シク緩和セシムルコトトセリ

該取付道路ハ黑磯町大字黑磯地先ヨリ那須村ニ至ル國道橋梁ヲ除ク延長八百九米六ノ盛土及掘鑿ヲ行ヒ更ニ那須村縣道取付ノ爲メ那須村高久地先延長三百一十一米四ノ掘鑿ヲ行フモノニシテ國道及縣道ノ

總掘鑿土量ハ三萬七千九百立方米、盛土量ハ二萬三千九百立方米ナリトス

有効幅員ハ國道十米縣道七米五トシ道路及橋梁共歩車道ヲ區別セズ路面構造ハ當初計畫ニ於テハ全部砂利道ナリシガ黑磯町側盛土部ニ幅八米、厚十八糎ノ二層式コンクリート鋪裝ヲ施行スルコトトセリ
排水設備トシテハ黑磯町大字黑磯地先及一部那須村地先ニ互ル兩側延長六百四十八米九ニ幅深共四十五糎ノコンクリート側溝ヲ設ケ爾餘ノ那須村側竝高久地先取付縣道全部ヲ併セ兩側延長一千四百八十米ニハ底敷深共三十糎ノ玉石張側溝ヲ設クルコトトセリ

最急縱斷勾配ハ國道ニ於テ三十八分ノ一其延長四百三十九米一ニシテ縣道側ハ三十分ノ一其延長二百七十六米四ナリ最小縱斷勾配ハ黑磯町側盛土上四十分ノ一ニシテ其延長百六十六米、最小屈曲半徑ハ國道那須村高久附近ニ於テ百四十米ナリ

新晚翠橋ハバランズドアーチ型中央徑間七十米、兩側徑間各二十八米ニシテ橋脚鉦中心ハ那珂川最高水位上一米一、平水位上五米九ナリ下弦拱矢十四米橋面ハ有効幅員九米トシコンクリートスラブノ上ニ厚五糎ノ含銅鑛滓アスファルトブロックヲ以テ鋪裝スルモノトス

晚翠橋架換位置及取付道路變更ニ伴ヒ現黑磯町字黑磯地先道路ハ一部廢道トナリ沿道住民ハ新道兩側ニ移轉スルノ計畫ヲ樹テ自費ヲ以テ道路ノ兩側ニ沿ヒ各幅七米五ノ宅地ヲ造成スルコトトナレリ

施工狀況

昭和六年四月十六日假事務所ヲ黑磯町役場内ニ置キ測量、用地買收調査竝ニ器具機械ノ運搬等施行準備ニ努メ同月三十日ニ至リ同町那珂川畔ニ新築中ノ事務所完成セルヲ以テ之ニ移轉シ五月三日先ヅ黑磯

町側民地土取場二箇所ヨリ無償ニテ土砂採取ニ著手シ九月二十六日迄ニ九千七百九十一立方米ヲ黑磯地先百六十六米間ニ運搬盛土セリ又那須村側ニ於テハ九月八日縣道取付三百一十一米五間(同村高久地先ヨリ湯本ニ至ル縣道)ノ掘鑿工事ニ著手シ次デ黑磯町ヨリ那須村ニ至ル國道延長五百十五米八間ノ掘鑿及盛土ヲ施行シ全掘鑿工ヲ終ヘタル後那須村側國道縱斷勾配三十分ノ一ヲ三十八分ノ一勾配ニ緩和更正スル土工ニ著手シ二萬七千三百三十九立方米ヲ掘鑿シ内一萬四千三百十六立方米ヲ現晚翠橋上ニトロ線ヲ敷設シテ黑磯町迄運搬盛土シ殘土ノ一部ハ同町宅地盛土箇所其他ニ利用セリ而シテ那須村側國縣道分岐點ハ銳角ヲ爲シ縣道側ノ視距小ナル爲メ該銳角ノ切取及縣道側段切工事ヲ三月一日著手シタルモ帝室林野管理局ノ用地ニ關スル認可後レタル爲メ次年度ニ繰越スニ至レリ

側溝ハ那須村側ヨリ著手シ使用玉石ハ那珂川ヨリ直營採集シ年度内兩側延長一千二百七十八米ヲ施行シ黑磯町ヨリ一部那須村地先ニ互ルコンクリート側溝ハ兩側延長四百五米ヲ施行シ其餘ハ翌年度へ繰越トナレリ

國道及取付縣道ノ總面積一萬一千百五十平方米ハ總テ砂利道ノ豫定ナリシガ其後黑磯地先延長二百六十九米二間ヲコンクリート鋪裝ニ變更シ前者ハ二月一日著手シ七千百九十八平方米ヲ竣成シ後者ハ三月十六日著手シ延長百五米ヲ施行セシモ其餘ハ繰越トナレリ

前記コンクリート鋪裝ハ幅員八米ニシテ二層式トシ上層ハ厚五糎配合一、一、五、三ノ碎石コンクリート下層ハ厚十三糎配合一、三、六ノ砂利コンクリートナリ中心線ニ添ヒ縱斷伸縮目地ヲ設ケ橫斷目地ハ各十米毎ニ設ケ各エラストイトヲ挿入セリ

晚翠橋橋脚ハコンクリート橋脚二基其底部ヲ凝灰質岩盤ニ達セシメ底敷ハ兩岸何レモ幅十四米、六長十

一米ニシテ基礎岩盤中一米五内外ノ深サニ達セシメタリ

左岸橋脚ハ六月一日床掘ニ著手セシモ那珂川河底ハ深四米程度ノ砂利層ヲ有シ掘鑿ニ伴フ湧水甚シキヲ以テ水止堰ヲ設ケ堰外ノ流水ハ小溝ニ依リ其他ハ九百ガロン渦卷ポンプ二臺ヲ使用シ排水ヲ爲セリ掘鑿土砂八百七十六立方米ニシテ床掘ヲ終リタル後七月二十日ヨリ軀體コンクリート作業ヲ開始シ九月一日竣功セリ右岸橋脚ハ其位置那珂川ノ流心ニ當レルヲ以テ上流ニ二箇所ノ水制工ヲ設ケ流心ヲ左岸側ニ付換ヘ床掘ヲ容易ナラシメ八月三日工事ニ著手掘鑿土砂一千四十四立方米ニシテ床掘終了後九月十一日ヨリ軀體コンクリート作業ニ著手一月三十一日竣功セリ

橋臺ハ鐵筋コンクリート二基ニシテ何レモ底部ヲ岩盤ニ達セシメタリ而シテ全重力式橋臺ハ背部ノ土壓ノ爲メコンクリート容積頗ル大ナルヲ以テ最モ經濟的ニ門柱型ト爲シ其兩脚ヲ底版ニ依リテ連結シ不齊等沈下ヲ防ギ基礎岩盤ハ橋脚基礎ト同ジク凝灰岩質ニシテ右岸橋臺位置ニ於ケル荷重試驗ノ結果每平方米ニ付五十吨迄ハ殆ンド沈下無キ事ヲ示セリ

左岸ハ十月一日床掘ニ著手掘鑿土砂五十立方米、同岩盤九百七十五立方米ヲ完了後直ニ軀體コンクリート六百十一立方米及間知土止壁面積五十二平方米ヲ竣功セシメ引續キ面積二百三平方米三ノ玉石積翼壁工事ニ著手シ二月二十日完了セリ

右岸ハ十月五日床掘ニ著手掘鑿土砂百九十七立方米、同岩盤二百六十六立方米ヲ完了後軀體コンクリート三百九十七立方米及間知土止壁面積三十四平方米ヲ竣成セシメ次デ面積百七十四平方米四ノ間知石張翼壁工事著手シ二月五日完了セリ

橋梁工事ハ工世上ノ都合ニ依リ請負ニ附スルヲ得策ト認メ淺野造船株式會社ノ請負ニ附シ三月二十日

同工場ニ於テ製作完了後直ニ現場ニ搬入架設ニ著手シ年度内兩橋脚沓据付等ヲ施行シ其他ハ未竣功ニ終レリ

本工事ニ依リ使用スベキ勞働者豫定延人員ハ九萬三千九百十一人ニシテ年度末迄ニ使用シタル實際延人員ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ七萬八千二百五十六人其他ニ依ルモノ五千五十四人計八萬三千三百十人ニ達シ工事竣功迄ニハ尙相當員數ノ増加ヲ見ルニ至ルベシ

本年度竣功高ハ十四萬八千十六圓ニシテ之ヲ工費豫算二十一萬一千三百圓ニ對比スレバ約七割ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩竣功合
	數	量金額	數	量金額	數	量金額		
本道								0.24
工事								0.24
橋梁								0.24
費其								0.24
土地								0.24
物件								0.24
移轉								0.24
其他								0.24
補償								0.24
費								0.24
器具								0.24
機械								0.24
費								0.24
雜費								0.24
共濟組合給與金								0.24
總計								0.40

第一八 國道四號線(福島)改良工事

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救済事業トシテ國ニ於テ直轄施行スル國道改良工事ニシテ當初計畫ハ總工費三十八萬一千圓ヲ以テ四號線ノミ施行スル豫定ナリシガ調査ノ結果五號線追加施行ノ事ニ變更セリ其ノ工事箇所竝豫算內譯左ノ如シ

路 線 名	區 間	當 初 豫 算	増 減	現 計
國 道 四 號 線	自福島市大字五十邊 至信夫郡瀬ノ上町大字瀬ノ上 自福島市柳町 至同 市本町	二七三、九二四 _四 二四、二〇七	△ 三八、〇二〇 _四 △ 四、四一〇	二三五、九〇四 _四 一九、七九七
國 道 五 號 線	自郡山市大字小原田 至安積郡富久山村大字久保田 自福島市本町 至同 市曾根田字古館	八二、八六九 	一四、七六〇 二七、六七〇	九七、六二九 二七、六七〇
合 計		三八一、〇〇〇		三八一、〇〇〇

計畫大要

一 四號線 自福島市大字五十邊
至信夫郡瀬ノ上町大字瀬ノ上 間

本工事箇所ハ福島市ヨリ瀬ノ上町、桑折町、藤田町ヲ連綴シテ宮城縣仙臺市方面ニ通ズル幹線道路ナルニ

幅員狹隘且屈曲多ク加フルニ福島電氣軌道ヲ併用セル爲メ交通上危險ナル箇所多シ又松川橋ハ明治四十一年三月ニ架設セル土造桁橋ニシテ爾來數次ノ修繕ヲ施行シ來リタリト雖モ經年ノ結果橋體腐朽シ重量貨物ノ通過ニ耐ヘズ架換ヲ要スル狀況ニアリ

本道路改良中心線ノ決定ハ現在道路ノ屈曲沿道ノ人家連檐及福島電氣軌道併用等ヲ考慮シ現道路ニ依ル改良ハ不得策ナルヲ以テ之ヲ放棄シ新線ニ依リ改良スルコトトセリ

而シテ起點ハ福島市都市計畫豫定道路網ト聯絡接續シ現道路ノ東側ヲ併行北走シ松川ヲ可及的流心ニ直角ニ横斷シ鎌田村大字本内地内ニ於テ現道路ニ接近セシメ同村舟戶地内ニ於テハ人家稀薄ノ地點ヲ横貫シ瀬ノ上町大字瀬ノ上地内現道急屈曲ヲ除去シテ同町本通りニ聯絡シ以テ全線形ヲシテ成ルベク直線ニ近カラシムベク樣撰定ス

本改良計畫ハ道路幅員十一米ニシテ中央幅員六米ハ水締砂利道トシ其兩側二米五宛ハ砂利敷道路トス橋梁ハ溝工等ハ何レモ鐵筋混凝土構造トシ其耐力ハ道路構造令施行細則案第二種ニ相當スル荷重ニ依レリ

本改良區間中ニハ松川橋、八反田橋、蛭川橋ノ三橋梁アリ何レモ鐵筋混凝土構造ニシテ松川橋ハ松川改修豫定計畫幅員ヲ基準トシテ橋長百六十五米、有効幅員七米五トス橋臺ハ扶壁付鐵筋混凝土構造トシ橋脚ハ下部ヲ箱形混凝土場所打トシ其上ニ馬蹄形鐵筋混凝土柱三本ヲ建込ミ上部ヲ橫梁ニテ聯絡ス橋體ハ徑間十一米三連ノ連續丁桁五組トシ橋面ニハ厚三糎ノ膠石鋪裝ヲ施工スルモノトス又高欄ハ鐵筋混凝土トシ其表面ヲ洗出シ鑄鐵ヲ配シ仕上ゲ親柱ニハ電燈設備ヲ爲ス

又八反田橋ハ橋長十二米六蛭川橋ハ橋長四米一ニシテ何レモ有効幅員ハ十米トス橋臺ハ混凝土塊場所

打トシ橋體ハ前者ハ單丁桁後者ハ床版工法トシ橋面ハ何レモ膠石鋪裝厚三糎高欄ハ鐵筋混凝土トス

二 四號線 自福島市柳町至同市本町間

本工事箇所ハ福島市南方地方ト福島市ノ中央部トヲ聯絡スル唯一ノ道路ナルト共ニ國道幹線ナルヲ以テ交通頻繁ナル道路ナリ

道路延長ハ八百八十米、幅員十米九乃至十二米一ニシテ平坦ナル道路トス路面ハ從來砂利敷道路ニシテ管理者ハ年々多額ノ砂利ヲ敷均シ以テ路面ノ維持ヲ爲シ來リタリト雖モ近時重量貨物並高速度交通機關ノ著シキ増加ニ依リ路面ノ破損甚シク到底所期ノ路面ヲ保持シ得ザルノ狀態ニアリ

本改良計畫ノ主眼ハ路面ノ鋪裝ニシテ路面ヲ整理シ中央部幅員七米五ヲ瀝青乳劑鋪裝厚八糎トシ其兩側ハ混凝土鋪裝厚十糎ニ仕上ゲ施工スル計畫ナリ側溝ハ先年福島市ニ於テ下水改良ノ際施工シタルヲ以テ改築ヲ要セズ單ニ路側上部ヲ見透シ良ク混凝土ヲ以テ加工補整スルノ程度ニ止メタルモノナリ
本工事ニ關聯シテ地上工作物ノ主ナルモノハ電柱、燈街等ニシテ道路ニ著シク突出セルモノ及街角ニ設置セルモノハ交通上支障無キ箇所ニ移轉セシメ又瓦斯及水道ノ本管並供給引込線等ノ地下埋設物ハ之ヲ整理シ尙施行豫定アルモノハ此際夫々關係當局者ニ施設セシムルモノトス

三 四號線 自郡山市大字小原田至安積郡富久山村大字久保田間

本工事箇所ハ地方物資ノ集散上重要ナル道路ニシテ且國道幹線ナルガ故ニ交通頻繁ナリ
道路延長三千七十四米八、當初二千七百二十八米四、追加三百四十六米四、幅員六米乃至十二米ノ平坦ナル道路ナレドモ路面砂利敷ニシテ現代ノ交通ニ適應セズ側溝又不完全ナルノミナラズ施設セザル箇所多キヲ以テ排水上遺憾ノ點多シ

本改良計畫ノ主眼ハ路面ノ鋪裝ニアリト雖モ之ガ維持上最モ密接ノ關係アル排水ノ完備ヲ期スルヲ要ス依テ路側ニハ側溝ヲ新設又ハ改築ニ依リ流水ノ疏通ヲ計リ尙現在ノ橋梁及溝橋ハ木造土橋又ハ石造ニシテ重量貨物ノ通過ニ適セザルヲ以テ之ヲ鐵筋混凝土構造ニ改築スルモノトス路面ハ整理擴張シ交通ノ情勢及地質ニ應ジ安積郡富久山村大字久保田安積橋南詰ヨリ郡山市大字小原田境橋南詰ニ至ル間ハ瀝青乳劑鋪裝トシ中央平均六米ヲ厚八糎ニ其兩側ヲ厚五糎ニ同終點ヨリ郡山市字境橋東北本線鐵道踏切北詰ニ至ル間ハ中央五米五ヲ瀝青乳劑鋪裝厚八糎其兩側ヲ混凝土鋪裝厚十糎ニ同鐵道踏切南詰ヨリ郡山市字菱田第四號暗渠ニ至ル間ハ中央五米五ヲ瀝青乳劑鋪裝厚五糎其兩側ヲ混凝土鋪裝厚十糎ニ同終點ヨリ郡山市大字小原田郵便局前ニ至ル間ハ瀝青乳劑鋪裝厚五糎ニ又同終點ヨリ郡山市大字小原田府縣道郡山長沼線分岐點ニ至ル間ハ混凝土鋪裝厚十七糎ニ仕上ゲ施行スルモノトス

本工事ニ關聯シテ地上工作物ノ主ナル物ハ電柱、街燈等ニシテ道路ニ著シク突出セルモノ及街角ニ設置セルモノハ交通ニ支障無キ箇所ニ移轉セシメ又遞信省地下電纜埋設及瓦斯水道ノ本管並供給引込線等ノ地下埋設物ハ之ヲ整理シ尙施行豫定アルモノハ此際夫々關係當局者ニ施設セシムルモノトス

四 五號線 自福島市本町間 至同市會根田字古館

本工事箇所ハ四號線福島市柳町本町間ト連續シテ福島市ノ南北ヲ貫通スル唯一ノ主要幹線道路ニシテ交通ノ頻繁ナルコト市内第一位トス

道路延長八百五十米、幅員七米八乃至八米三ニシテ平坦ナルモ路面砂利敷ナルヲ以テ近代の交通機關ニ適セズ從ツテ路面ノ損傷甚シク其保持ニ困難ナル狀態ニアリ

本改良計畫ノ主眼ハ路面ノ鋪裝ニアリト雖モ之ト關聯シ溝橋ハ現在土橋若クハ石造ニシテ重量貨物ノ通過ニ適セザルガ故ニ之ヲ鐵筋混凝土構造ニ改築スルモノナリ側溝ハ先年福島市ニ於テ下水改良ノ際施工シタルヲ以テ改築ヲ要セズ單ニ路側上部ヲ見透シ良ク混凝土ヲ加工鋪整スルノ程度ニ止メタルモノナリ

路面ハ整理シ路盤ハ最小限度掘鑿輾壓ノ上下層ニ混凝土配合一、三、六、厚十二糎ヲ上層ニ膠石配合一、二、厚五糎ヲ二層打ニ仕上ゲ全厚十七糎ノ膠石鋪裝ヲ施行スルモノトス
本工事ニ關聯シテ突出又ハ街角ニ設置シアリテ交通上支障トナレル地上工作物ノ移轉及地下埋設物整理竝施行豫定ニアル埋設工事ハ關係當局ニ通知シ此際夫々施設セシムルモノトス
以上各工事ニ對スル本計畫ノ道路幅員、縱斷勾配、橫斷勾配等左ノ通りトス

種 別	種 別	種 別	種 別
福島市大字五十邊間 信夫郡瀬ノ上町大字瀬ノ上	福島市柳町間 同 市 本 町 間	郡山市大字小原田間 安積郡富久山村大字久保田	福島市本町間 同市會根田字古館
三、二八五・〇 三、一〇三・三 一八一・七 (三箇所)	八八〇 八八〇 八八〇	三、〇七四・八 三、〇四三・六 七・二 (二箇所) (二箇所) (一箇所)	八五〇・〇 八五〇・〇 八五〇・〇
鐵 橋 道 工 事 施 行 延 長	鐵 橋 道 工 事 施 行 延 長	鐵 橋 道 工 事 施 行 延 長	鐵 橋 道 工 事 施 行 延 長
道 踏 切 梁 路 長	道 踏 切 梁 路 長	道 踏 切 梁 路 長	道 踏 切 梁 路 長

最 小 屈 曲 半 徑	最 小 縱 斷 勾 配	最 急 縱 斷 勾 配	道 路 橫 斷 勾 配	鐵 道 踏 切	橋 梁	道 路	幅 員
一、〇〇〇・〇米	〇 %	一・四 %	三十分ノ一	蛭八松 反川 川田 橋橋橋	一一・〇 七・五 〇〇・〇 〇〇・〇	福島市大字五十邊 間 信夫郡瀬ノ上町大字瀬ノ上	福島市大字五十邊 間
一三〇・〇米	〇・一 %	二・一六 %	中央七・五米瀝青乳劑鋪裝 (兩側混凝土鋪裝)三十分ノ一		一〇・九米 均一二・二米 一一・二米	福島市柳町 間 同市本町	福島市柳町 間
二〇・〇米	〇・〇八 %	二・二五 %	瀝青乳劑鋪裝三十分ノ一 混凝土鋪裝四十分ノ一		六・〇米 均一二・〇米 八・五米	郡山市大字小原田 間 安積郡富久山村大字久保田	郡山市大字小原田 間
屈曲九二度	〇・一五 %	〇・八五 %	膠石鋪裝四十分ノ一		七・八米 均八・〇米 八・三米	福島市本町 間 同市會根字田古館	福島市本町 間

施工狀況

昭和六年四月事務所ヲ福島市内ニ設置シ諸般ノ準備ヲ開始シ次デ工場ヲ設ケ鋭意工程ノ進捗ヲ圖リタルモ年度内完成シタルハ本町古館間ノ工事ノミニシテ其他ノ工事ハ大略竣功ニ近ヅケルモ翌年度ニ繰越スニ至リタリ

便役労働者ハ事業ノ性質上附近及市内失業者ノ内最モ生活困難ナルモノヨリ順次使役スル方針ノ下ニ各關係町村長及職業紹介所ニ於テ失業登録ヲ爲サシメ各町村ハ其登録簿ノ寫シヲ職業紹介所（小原田、久保田間ハ郡山職業紹介所其他ノ箇所ハ）ニ送付シ職業紹介所ハ其生活程度ニ依リ最モ深刻ナルモノヲ甲トシ順次乙丙ニ區分整理シ

必要人員ヲ右順序ニ依リ就業セシメタリ而シテ其勞働賃金ハ市ニ委託シ職業紹介所員ニ於テ日拂ヲ爲セリ

本工事ニ使役シタル勞働者ハ十七萬八百三十四人(内職業紹介所利用ニ依ルモノ十六萬六千三百二十九人其他ニ依ルモノ四千五百五人)ニシテ計畫豫定人員ノ九割二分ニ當レリ

今各箇所ニ就キ狀況ヲ述ブレバ左ノ如シ

一 四號線 自福島市大字五十邊間
至信夫郡瀬ノ上町大字瀬ノ上

本工事ハ昭和六年四月工事ニ著手シタルモノニシテ用地買收ハ登記關係上一部分未済アルモ橋梁工事ハ八反田、蛭川ノ兩橋昭和七年二月竣成シ殘ル松川橋ハ僅ニ高欄洗出等仕上ノ一部ヲ餘スノミナリ又道路工事ハ土工、擁壁工、路面工、溝工、側溝等何レモ其大部分竣功シ近ク開通ノ域ニ達セリ

本年度竣功額二十萬六千六百六十圓ニシテ工程九割六分ニ當ル

使役勞働者ハ福島市外五十四箇町村ニシテ其延人員十二萬十人(内職業紹介所利用ニ依ルモノ十一萬八千二百七十四人)此勞銀八萬五千三百七十五圓九十八錢ナリトス

二 四號線 自福島市柳町間
至同市本町間

本工事ハ昭和六年六月ニ著手シ先ヅ以テ電柱、街燈等ノ地上工作物及水道、瓦斯管等ノ地下埋設物ニシテ交通上竝工事施行上支障アルモノハ各關係當局者ニ通知シ移轉整理ヲ爲サシメ側溝、溝工、路面ノ順位ニ施行セリ而シテ側溝ハ八月、溝工ハ十月ニ完成ヲ見タリ路面鋪裝工事ハ在來路面ノ切均シ及補整ヲ爲シ成ルベク自然輾壓ニ依リ路盤ヲ固メ次ニ輾壓機ニ依リ適當ナル路盤ニ仕上ゲタル後兩側ハ混凝土、中央ハ簡易瀝青乳劑鋪裝ノ施工ヲ爲スモノナルガ内混凝土鋪裝ハ竣功ヲ告ゲタルモ瀝青乳劑鋪

装ハ次年度ニ繰越セリ

本年度竣功額ハ一萬八千六百十一圓ニシテ竣功歩合ハ九割四分トス

使役勞働者ハ福島市外二十八箇町村ニシテ其延人員九千六百十一人（内職業紹介所利用ニ依ルモノ八千八百九十一人）其支拂勞力費七千六百十三圓九十九錢ナリ

三

四號線 自郡山市大字小原田間
至安積郡富久山村大字久保田間

本工事ハ昭和六年四月起工セルモノナルガ交通上竝工事施行上支障トナレル地上工作物及地下埋設物ハ關係者ヲシテ夫々移轉整理ヲ爲サシメ又本工事ト關聯セル道路側溝ノ内人家側ハ郡山市當局監督ノ下ニ地元關係者ニ於テ負擔施行シタリ

施工順序ハ側溝、溝工、橋梁、路面ノ順位ニ依リ工ヲ進メ欄干及境ノ二橋梁ハ九月落成ヲ見、側溝竝溝工ハ小原田地内一部ヲ除ク外全部竣功ヲ告グ又路面鋪裝ハ混凝土厚十七糎施行箇所未完成ナルモ其他ハ全部竣功トナレリ

本年度竣功功程ハ九割一分ニシテ工費ハ八萬二千四百七十五圓ナリトス

使役勞働者ハ郡山市外八箇町村ニシテ延人員三萬一千三百六十三人（内職業紹介所利用ニ依ルモノ二萬八千九百九十三人）此勞力費三萬六百三十一圓四錢ナリ

四

五號線 自福島市本町間
至同市會根田字古館間

本工事ハ昭和六年十二月追加起工ニ係ルモノニシテ著工以來工事督勵ノ結果溝工ハ昭和七年一月側溝及路面ハ同年三月完成シ全部年度内ニ竣功セリ其工費二萬四千四百六圓ナリトス

使役勞働者ハ福島市外二十八箇町村ニシテ延人員一萬四百人（内職業紹介所利用ニ依ルモノ一萬百七

十一人ヲ就業セシメ勞力費ハ八千九十四圓九十錢ヲ支拂ヒタリ

以上工事ニ對スル總竣功額三十三萬二千五百五十二圓ニシテ總工費三十八萬一千圓ニ比シ功程八割七分ノ竣功ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩竣功合
	數	量金額	數	量金額	數	量金額		
掘鑿		三、四七〇 立方米		三、四七〇 立方米		三、四七〇 立方米	四	〇・九七 百分
築堤		三、七、二〇〇 平方米		三、七、二〇〇 平方米		三、七、二〇〇 平方米	四	〇・九七
擁壁		二、七〇七 平方米		二、七〇七 平方米		二、七〇七 平方米	四	〇・九七
路面		六、八、八〇〇 箇所		六、八、八〇〇 箇所		六、八、八〇〇 箇所	四	〇・八六
溝工		一、八、六三三 箇所		一、八、六三三 箇所		一、八、六三三 箇所	四	〇・九六
側溝		一〇、三三〇 米		一〇、三三〇 米		一〇、三三〇 米	四	〇・九六
工事		一、〇、二、二八 箇所		一、〇、二、二八 箇所		一、〇、二、二八 箇所	四	〇・九六
費		二、一、〇、二、二八 箇所		二、一、〇、二、二八 箇所		二、一、〇、二、二八 箇所	四	〇・九六
橋		七、五、八八 箇所		七、五、八八 箇所		七、五、八八 箇所	四	〇・九六
土地		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六
物件移轉並其他補償費		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六
器具機械費		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六
雜費		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六
共濟組合給與金		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六
總計		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米		二、一、八、二二 平方米	四	〇・九六

本表ヲ更ニ箇所別ニスレバ次ノ如シ

自福島市大字五十邊
至信夫郡瀬ノ上大字瀬ノ上

[illegible]

四號線
自福島市柳町
至同市本町間

費 事 工 本					費	目
其 橋 材 側 溝 路						
料						
採						
他 梁 取 溝 渠 面						
					數	前年度迄竣功高
					量	
					金	本年度竣功高
					額	
					數	合
					量	
					金	計
					額	
					數	竣
					量	
					金	功
					額	
					步	合
					功	

自郡山市大字小原田
至安積郡富久山村大字久保田

間

費目	工事費										總計
	路面	溝渠	側溝	材料採取	土地買收費	物件移轉並其他補償費	器具機械費	雜費	共濟組合給與金		
前年度迄竣功高	數量										計
	金額										
本年度竣功高	數量			一、七八五 平方 米	一、七六六 米						計
	金額			八、八四八 円	一、三三三	五、八四〇	二、七六七	一、〇〇七	二、三	一、八六一	
合	數量			二、八八五 平方 米	一、七六六 米						計
	金額			八、八四八 円	一、三三三	五、八四〇	二、七六七	一、〇〇七	二、三	一、八六一	
竣功	數量			〇、九六五 平方 米	一、〇〇						計
	金額			〇、九六五	一、〇〇						

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
	平方 米	円	平方 米	円	平方 米	円	
土地買収費			三八	一、四八	三八	一、四八	1.00
物件移轉並其他補償費				二、〇一一		二、〇一一	
器具機械費				五、三六三		五、三六三	
雜費				六、四〇三		六、四〇三	
共済組合給與金				一、八		一、八	
總計				八、一四七		八、一四七	0.8

五號線 自福島市本町至同市會根田字古館間

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
	平方 米	円	平方 米	円	平方 米	円	
路面			六、八〇三	一、六一六	六、八〇三	一、六一六	1.00
溝渠			一〇	二、八	一〇	二、八	1.00
工事費			一、一〇	三、三三三	一、一〇	三、三三三	1.00
材料採取費				一、九一		一、九一	
器具機械費				三、六		三、六	
雜費				二、二		二、二	
共済組合給與金				一、〇		一、〇	
總計				一、四〇三		一、四〇三	0.2

第一九 國道四號線(宮城)改良工事

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救濟工事トシテ國ニ於テ直轄施行スル國道改良工事ニシテ宮城郡七北田村七北田地内ニ於ケル七北田橋、此工費七萬二千七百四十七圓、同村大澤ヨリ黒川郡富谷村熊谷ニ至ル間俗稱大曲道路工事、此工費六萬二千四百四十七圓、黒川郡吉田村高田地内高田橋、此工費五萬一千六百七十四圓、志田郡荒雄村江合、遠田郡富永村休塚間ニ於ケル江合橋、此工費九萬九千三百三十二圓即チ橋梁三箇所、道路一箇所、總工費二十八萬六千圓ナリトス

計畫大要

道路ノ現況

一 七北田橋 宮城郡七北田村七北田地内七北田川ニ架設セラレ仙臺市ノ北域ヲ去ルコト僅ニ數町ノ所ニ在リ今年一月ノ調査ニ依レバ本橋ヲ通過スル車輛、自動車、オートバイ及牛馬車ノ數ハ一日平均二百八十八、最高三百九十九ニ達ス然ルニ舊橋ハ木橋、土橋ニシテ明治三十九年ノ架設ニ係リ昭和六年橋齡既ニ至ル迄二十六年、橋脚ニハ數々漆喰ヲ施シ橋體ニハ成木桁ヲ取替フル事數度漸ク現況ヲ維持セリト雖モ重量荷重ノ通過及洪水ニ對シテハ其完全ヲ保シ難キ狀態ニ在リ又前後取付道路ハ勾配何レモ十二分ノ一乃至十五分ノ一ニシテ洪水時ニハ冠水シ交通全ク遮斷セラル

二 大曲道路 宮城郡七北田村大澤、黒川郡富谷村熊谷間ノ坂路ヲ謂フ而シテ起點大澤ハ七北田橋ノ北方約一里ナリ

舊道ハ砂利道ニシテ路面凸凹シ最小幅員五米而モ急坂曲折シテ相連リ全ク前後ノ見透シヲ缺ケリ即チ最急縦斷勾配十六分ノ一最小屈曲半徑六米ニシテ車馬就中高速度機關ノ交通ニ對シテハ支障最モ多シトス此ノ地ニ於ケル平均交通量ハ一日百三十三輛トス

三 高田橋 七北田橋ノ北方約四里、黒川郡吉田村高田地内吉田川筋ニ在リ吉岡町ノ南方ヲ扼シ車輛ノ交通一日平均百十六臺トス舊橋ハ木橋土橋ニシテ明治四十一年架設スル所其狀況ハ略々七北田橋ニ同ジ前後取付道路ハ勾配急ナラズト雖モ路面低クシテ洪水時ニハ一部ノ冠水ヲ免レズ

四 江合橋 志田郡荒雄村江合、遠田郡富永村休塚間ノ江合川筋ニ在リ高田橋ヲ北ニ去ルコト六里餘ナリ此地ハ恰モ志田、遠田、栗原三郡ノ接合點ニシテ且南方ニ近ク古川町ヲ控ユルヲ以テ車輛ノ交通ハ頗ル多ク一日平均三百六十一、最高五百六十七ニシテ工事區間中第一位ニ在リ舊橋ハ木橋板橋ニシテ明治四十四年架設以來二十二箇年狀況ハ前記二橋ニ異ナラズ因ミニ現在地附近ハ江合川改修濟ノ所トス計畫ノ大要

事業年度ヲ一箇年度トシ事業費二十八萬六千圓ヲ以テ施工シ七北田橋及高田橋ハ現在地ニ江合橋ハ稍下流ニ架換大曲道路ハ屈曲箇所ト半徑トヲ緩和減少セムトスルモノニシテ之ニ依リテ救済サルベキ失業者ノ數ハ七北田橋四萬一千百九十一人、大曲道路五萬四千四百三十九人、高田橋二萬九千二百七人、江合橋四萬三千百六十三人、合計十六萬八千人ノ見込ナリ
次ニ箇所毎ノ概要ヲ述ブレバ

一 七北田橋

橋 長 八十八米三七

有効幅員 七米五

上部構造 鐵筋混凝土T型單桁四通經間十米五八徑間橋面ハ膠石鋪裝橫斷勾配五十分ノ一双曲線形

橋 臺 鐵筋混凝土

橋 脚 七基圓形井筒二箇沈下約六乃至七米上部連結軀體鐵筋混凝土

取合道路 步車道ノ區別ナシ路面水締マカダム

最急縱斷勾配二十五分ノ一延長百八十八米三八(二箇所分)

三十分ノ一ヨリ急ナル勾配ノ箇所數二延長百八十八米三八(二箇所分)

最小屈曲半經二百米

半經五十米以下又ハ見透シ距離百以下ノ屈曲箇所ナシ

二 大曲道路

延 長 二千二百二十二米

有効幅員 七米五

步車道ノ區別 無シ

路面構造 水締マカダム

最急縱斷勾配二十分ノ一 延長六百二十米(二箇所)

二十分ノ一ヨリ急ナル勾配ノ箇所數五 總延長一千四十米

最小屈曲半徑 百米

半徑五十米以下又ハ見透距離百米以下ノ屈曲箇所數無シ

三 高田橋

橋 長 四十四米二七

有効幅員 七米五

上部構造 鐵筋混凝土T型單桁徑間十米五四連橋

面膠石鋪裝、橫斷勾配五十分ノ一双曲線形

橋 臺 鐵筋混凝土扶壁式基抗打

取合道路 歩車道ノ區別無シ路面水締マカダム、

最急縱斷勾配三十分ノ一 延長百七十七米二〇（二箇所分）
半徑五十米以下又ハ見透シ距離百米以下ノ屈曲箇所無シ

四 江合橋

橋 長 百五十五米

有効幅員 七米五

上部構造 鋼製鉸桁鐵筋混凝土床版施行

橋面ハ五十分ノ一双曲線型膠石鋪裝

橋 臺 扶壁式鐵筋混凝土基礎抗打

橋 脚 八基井筒二箇沈下上部連結鐵筋混凝土軀體

取合道路 歩車道ノ區別無シ路面構造水締マカダム

最急縱斷勾配二十五分ノ一 延長百三十九米五

最小屈曲半徑 三十米

半徑五十米以下又ハ見透シ距離百米以下ノ屈曲箇所一

施工狀況

昭和六年四月事務所ヲ宮城郡七北田村ニ設置シ諸般ノ準備ヲ爲シ次デ各工事箇所ニ工場ヲ設ケ銳意工事ノ進捗ヲ圖リ時ニ或ハ晝夜兼行ヲ爲ス等ア凡ル努力ヲ重ネタルニ恰モ天候頗順調ナリシヲ以テ功程ハ殆ンド豫期ノ如ク進行シ只僅少ノ部分ノミ年度ヲ越スニ至レリ即チ橋梁ニ在リテハ高欄ノ化粧又ハ洗出及取合道路ノ一部假道ノ撤廢等道路ニ在リテハ取合道路ノ部等トス此間ニ於ケル工事日數三百三十六日(十一箇月)ナリ

本年度竣功工事費二十七萬三千二百二十七圓ニシテ約九割七分ノ功程トス

勞働者使役延人員ハ十五萬五千三百二十一人ニシテ計畫十六萬八千人ニ對シ九割三分ニ當ル箇所毎ノ狀況次ノ如シ

一 七北田橋 現在位置ニ架換ヲ爲スヲ以テ昭和六年五月一日先ヅ假橋假道ノ工事ニ著手シ六月二十六日之ガ開通スルヤ直チニ舊橋取毀シヲ行ヒ別ニ六月一日ヨリハ混凝土及路面用ノ砂利、砂ヲ採取セリ舊橋取毀シノ後橋脚用井筒工ノ場所打混凝土竝ニ沈下作業ヲ施セルニ河底ノ土質ハ下層ニ至ルニ從ヒ砂岩トナリ且湧水多ク作業ハ相當困難ニシテ漸ク十二月六日其完了ヲ見タリ次ニ橋脚軀體ハ矩形ノ鐵

筋混凝土壁橋臺軀體ハ重力式鐵筋混凝土、袖壁ハ顛倒型混凝土、橋體ハ型單桁橋、橋面ハ褥床混凝土ト同時ニ膠石鋪裝ヲ施シ繼手ニハ銅板及エラストイトヲ使用高欄及親柱、袖柱ハ鐵筋混凝土造リ手摺及束柱ハ擬石仕上トセリ

此内高欄部化粧廻リ及取合道路ノ各一部假道撤廢ハ共ニ年度ヲ越スコトナレリ

勞働者傭上ゲ區域ハ仙臺市、宮城郡七北田村、根白石村ナルモ主トシテ七北田村出役セリ此延人員三萬五千百一人ナリトス

二 大曲道路 昭和六年六月十五日起工以來諸準備ヲ了シ八月上旬ヨリ砂利、砂採取及掘鑿工事ニ取掛レリ砂利、砂ハ最初鳴瀨川ヨリ採取シ仙臺鐵道ニ托送セルモ九月中旬ヨリハ七北田川及吉田川ヨリ採取運搬セリ掘鑿ハ主トシテ人力ニ依リ岩石箇所ハダイナマイトヲ使用シ畚及トロヲ以テ運搬年度末迄ニ九十八%ノ進行ヲ見タリ是ニ伴ヒ築立工事ヲ行ヒ芝ハ附近ヨリ無償採取シ其張付法ハ十月中旬ヨリ初メ三月末日迄九十九%ノ出來形トナレリ次ニ暗渠ハ八月下旬著手七年一月迄ニ全部完了路面ハ十月下旬盛土完了ノ箇所ヨリ搗固メヲ爲シ之ニローラー輾壓ヲ加ヘ水締仕上トシタルガ寒氣ノ爲メ阻碍セラレ三月迄ニ九十%ノ工程ヲ見タリ

取付道路ハ總延長五十七米四二ニシテ年度末迄ニ竣功シタルハ其大半ナリトス

勞働者傭上ゲ區域ハ宮城郡七北田村、根白石村、黒川郡宮床村、富谷村ニシテ使役延入員五萬五千四百五十二人ナリトス

三 高田橋 假橋假道工事、舊橋取毀、砂利、砂採取等概シテ七北田橋ト同一ナリ昭和六年六月二十日假橋開通シ七月一日橋脚井筒用鐵杵据付ニ著手十一月十九日井筒沈下完了セリ橋脚軀體ハ十二月七日竣功

セルガ其形式ハ鐵筋混凝土長方形ナリ橋臺ハ扶壁式鐵筋混凝土ニシテ六月二十八日著手左右共七年一月十五日竣功ス

橋體ハ鐵筋混凝土T型桁長十一米ノモノ四連橋面ハ膠石鋪裝親柱及袖柱ハ花崗石高欄ハ鐵筋混凝土表面手摺及柱ハ寒水石ヲ用ヒ三月末迄ニ研出シ及洗出ノ央バヲ了セリ

取合道路ハ延長百八十七米勾配三十分ノ一路面ハ水締マカダム施工ニシテ土運搬中ニ年度ヲ越セリ

勞働者傭上ゲ區域ハ黒川郡吉岡町吉田村落合村鶴巢村富谷村ニシテ延人員二萬七千百十六人ナリトス
四 江合橋架換位置ノ中心線ヲ下流ニ定メタルヲ以テ假橋架設ノ要ナク先ヅ六年五月八日砂利砂ノ採取ニ著手六月下旬ニハ橋脚井筒鐵杵据付ヲ爲シ順次井筒沈下場所打混凝土等ノ作業ヲ進メ十月二十三日ニハ橋脚軀體八箇所全部ノ鐵筋混凝土作ヲ終レリ

只橋體鋼桁ノミハ工費二萬五百三十六圓ヲ以テ株式會社千代田組ニ請負ハシメ六年十二月中架設竣功セリ

次ニ床版混凝土ハ七年二月十二日鐵筋組立ニ著手三月末日混凝土工ヲ經了セルモ高欄及袖柱ハ鐵筋混凝土打ヲ爲シタル儘ニテ年度内ニハ表面化粧ノ全部ヲ完了スルニ至ラザリキ

取合道路ハ延長四五七・四米縱斷勾配二十五分ノ一、橫斷勾配二十分ノ一、最小屈曲半徑三十米ニシテ年度末迄ノ出來形九十五%ナリ

勞働者傭上ゲ區域ハ志田郡古川町荒雄村、遠田郡富永村、栗原郡長岡村及宮澤村ノ三郡一町四箇村ニ及ビ此ノ延人員三萬七千六百五十二人ナリトス

以上工事ニ對スル工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩	竣功合
	數	金	數	金	數	金			
掘鑿			立方米 三、五、六、三	二、二、八、九	立方米 三、五、六、三	二、二、八、九		〇・九八	四分
本築堤			立方米 一、三、五、一	二、一、九、一	立方米 一、三、五、一	二、一、九、一		〇・九	
工路面			平方米 一、五、〇、〇、五	四、四、六、九	平方米 一、五、〇、〇、五	四、四、六、九		〇・九	
溝渠			△米 八	二、二、一、一	△米 八	二、二、一、一		〇・〇	
事材採			立方米 二、四、七、七	六、七、六、六	立方米 二、四、七、七	六、七、六、六		一・〇〇	
費橋梁			箇所 三	一、七、一、四	箇所 三	一、七、一、四		〇・九六	
其他				六、七、八		六、七、八		〇・九八	
土地			平方米 一、六、三、五	五、一、五、三	平方米 一、六、三、五	五、一、五、三			
物件移轉並其他補償費				五、八、〇、一		五、八、〇、一			
器具機械費				二、四、四、八		二、四、四、八			
雜費				二、三、一、七		二、三、一、七			
共濟組合給與金				四、〇、一		四、〇、一			
總計				二、七、一、三、八		二、七、一、三、八		〇・九六	

本表ヲ更ニ箇所別ニスレバ次ノ如シ

七 北田橋架換工事

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩	竣功合
	數	金	數	金	數	金			
本橋脚			基 二	一、三、三、八	基 二	一、三、三、八		〇・〇	四分

大曲道路工事

[illegible][illegible]

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩竣 合功
	數	量	數	量	數	量		
	金	額	金	額	金	額		
	高	高	高	高	高	高		
土地買收費				平方 一四、一八五		平方 一四、一八五	一、八四六 四	期分
物件移轉並其他補償費							五一九	
器具機械費				一、五八八		一、五八八	二、〇〇〇 四	
雜費				二、〇〇〇		二、〇〇〇	二、〇〇〇	
共濟組合給與金							一、〇〇〇	
總計				五、七四一 四		五、七四一 四	五、七四一 四	〇・二八

高田橋架換工事

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩竣 合功
	數	量	數	量	數	量		
	金	額	金	額	金	額		
	高	高	高	高	高	高		
橋脚臺			二基		二基		一三、五九六 四	一・〇〇
橋體			三	平方 三三三	三	平方 三三三	八、五八〇	一・〇〇
橋欄							五、八六〇	一・〇〇
高橋							一、四九二	〇・八八
取合道							三、〇〇五	〇・九三
假橋、假道							二、〇〇六	〇・九一
材料採取費				立方 一、九三八		立方 一、九三八	二、二九三	一・〇〇
土地買收費				平方 五七五		平方 五七五	二、二九三	
物件移轉並其他補償費							二、二九三	

器具機械費	雜費	共濟組合給與金	總計
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
四、三二	六、一四七	一〇〇二	四九、三六七
—	—	—	—
四、三二	六、一四七	一〇〇二	四九、三六七
—	—	—	—
—	—	—	—

第六章 失業救濟工事（國道四號線（宮城）改良工事）

第二〇 國道四號線(岩手)改良工事

緒言

本工事ハ昭和六年度ニ於ケル失業救済ノ爲メ國ニ於テ直接施行スルモノニシテ膽澤郡前澤町ヨリ西磐井郡平泉村ニ至ル間(延長六千三百八米八)ノ道路新設ト稗貫部花卷町地内豐澤橋(橋長百十米)ノ改築工ストス而シテ本工事費豫算額ハ當初二十八萬六千圓ヲ以テ施行ノ計畫ナリシモ一部計畫ノ變更ニ伴ヒ之ヲ三十一萬圓(内前澤町、平泉村間二十二萬八千圓、豐澤橋八萬二千圓)ニ更正セラレタリ

計畫大要

前澤町、平泉村間國道改良工事施行區間ニ於ケル在來ノ道路ハ北上川ノ西部ニ位シ之ト殆ド竝行ノ位置ニ在リ北上川汎濫スルヤ冠水シテ交通ノ杜絶ヲ來スコト毎年數次ニ上リ且鐵道省東北本線ニ交叉スル踏切二箇所アリテ一般交通上危險ト不便尠カラズ故ニ之ガ路線ヲ西方山手ニ變更シ併セテ道路有効幅員ヲ擴張シテ交通上ノ障礙ヲ除却シ利便ヲ増進セントス

工事施行區間ハ岩手縣ニ於テ施行スベキ衣川橋竝其前後取付道路ヲ除キ全延長六千二百九十米八、有効幅員ハ山間部七米五、其他ハ八米五ニシテ路面構造ハ砂利道トシ歩車道ノ區別ハ之ヲ設ケズ横斷勾配及最急縱斷勾配ハ二十分ノ一ニシテ三箇所アリ各延長ハ二百六十米、四十米、三百米ナリ又三十分ノ一ヨリ急ナル勾配箇所ハ六箇所ニシテ其總延長一千五百五十米八ナリ

最小屈曲半徑ハ百米ニシテ見透シ距離百米以下ノ屈曲箇所ハ二箇所アリ而シテ路線ヲ横斷スル白鳥川及太郎ヶ澤川ニハ夫々白鳥川橋、太郎ヶ澤橋ヲ架設スルノ外水路ノ状態ニ應ジ暗渠側溝其他適當ナル施設ヲ爲シ又切取盛土箇所ノ内必要ナル部分ニ張芝工若クハ擁壁工ヲ施行シテ法面ヲ保護セントス

豐澤橋ハ明治三十二年ニ花卷町ノ南端豐澤川ニ架設セラレ明治四十二年ノ洪水ニ際シ一部破壊セラルルヤ大修理ヲ加ヘ今日ニ至レリ由來花卷地方ハ岩手縣ノ中樞部ニシテ商工業ノ隆昌ナルト共ニ縣下交通上ノ要部ニ當リ從ツテ國道ニ位スル本橋ノ通行モ極メテ頻繁ナリ然ルニ本橋ハ木造ニシテ歲月ノ流レト共ニ朽廢毀損シ今ヤ交通上危險ノ状態ニアリ依テ之ヲ鐵筋混凝土ニ連續桁橋ニ架換セントス即チ橋長百十米（徑間十一米二連續桁五連）全幅員八米二、有効幅員七米五ナリ橋臺ハ杭打基礎、玉石、混凝土工橋脚ハ杭打基礎鐵筋混凝土工ニシテ九基ヲ築造ス

橋面ハ膠石混凝土鋪裝ヲ施シ高欄ハ鐵筋混凝土ヲ主體トシ一部ニ鑄物ヲ併用シ橋梁ノ前後ニハ取付ノ爲メ南方ニ於テ延長八十一米五、北方ニ於テ延長百九十米五ノ道路工事を施行ス

本工事ニ依ル失業者救済豫定數ハ十九萬五千人（道路一七三、七〇七
豐澤橋二一、二九三）ナリトス

施工狀況

本工事施行ノ爲メ昭和六年四月一日事務所ヲ膽澤郡前澤町ニ開設スルト共ニ諸般ノ準備ヲ進メ同年五月一日豐澤橋假設工事ニ著手スルヲ得タリシモ前澤平泉間ハ種々ノ關係上之ガ著手延期ノ止ムナキニ至リ六月十六日漸ク山間部ノ切取工事ニ著手セリ是等用地買收ニ關シテハ調査ニ相當時日ヲ要スルヲ以テ豫メ關係地主ノ承諾ヲ需メ起工承諾書ヲ徴シ工事施行ニ際シ支障ナカラシム而シテ諸般ノ準備完

了スルニ伴ヒ順次各種工事ニ著手スルヲ得タリシト雖モ本工事ハ事業ノ本質上要救濟者ハ老若ヲ問ハズ交互ニ使役スルモノナルヲ以テ土工其他ニ使役シテ必ズシモ適當ナリト謂フヲ得ズ稍モスレバ作業上危険ノ虞レアリ且能率ニ付テモ果シテ所期ノ効果ヲ擧ゲ得ルヤ多大ノ懸念無キ能ハズ依テ極力人夫ノ指導ニ力ヲ致スト共ニ七月下旬ヨリ十二月下旬ニ至ル迄ハ出役ヲ二部制又ハ三部制ヲ實施シ晝夜兼行以テ事業ノ進捗ヲ圖レリ冬季中比較的溫暖ニ經過シ降雪等モ亦極メテ少ナク工事施行上多大ノ便宜ヲ得タルハ實ニ僥倖トスル所ナリキ

斯クシテ年度末ニ於ケル功程ハ前澤平泉間ニ在リテハ特殊工事タル白鳥川、太郎ヶ澤川兩橋ハ既ニ完成ヲ告ゲ土工(掘鑿土量十九萬六千四百八十五立方米、盛土十一萬九百二十一立方米施行)モ亦實質上竣功ノ域ニ達セリ此他路面工ハ僅少ナル輾壓ヲ餘スノミトナリ側溝擁壁工等ノ竣功モ目睫ノ間ニ迫リツツアリ

豐澤橋架換工事ニ於テハ橋臺橋脚工ヲ初メ主要部分ハ總テ竣功ヲ告ゲ取付道路及假橋撤去工事等雜工事ノ一小部分ヲ殘スノミ使役勞働者ニ就テハ地方各職業機關ト聯絡ヲ圖リ要救濟者トシテ登錄ヲ受ケタルモノノ内生活困難ナルモノヨリ順次使用セリ其使役延人員二十三萬六千二百二十人(内紹介機關利用ノモノ二十二萬一千五百十人、其他ニ依ルモノ九千一百十人)ニシテ當初ノ計畫豫定延人員十九萬五千人ヲ超過スルコト實ニ三萬五千六百二十人ナリトス

本年度ノ工事費竣功額ハ二十八萬八千六百九十三圓(内前澤平泉間二十一萬二千三百一圓、豐澤橋七萬六千三百九十二圓)ニシテ豫算額三十一萬圓ニ比スルトキハ九割三分ノ竣功ナリ其竣功表左ノ如シ

費 目	掘 築 路 溝 側 擁 橋 其													費 目		
	鑿	堤	面	渠	溝	壁	梁	他	費	土 地 買 收 費	物件移轉並其他補償費	器 具 機 械 費	雜 費		共濟組合給與金	總 計
前年度迄竣功高	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本年度迄竣功高	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
合	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
計	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
步竣	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
合功	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額

本表ヲ更ニ箇所別ニスレバ左ノ如シ

前澤町平泉村間道路工事

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿			一、九六、四八五 立方尺	五七、四九九 圓	一、九六、四八五 立方尺	五七、四九九 圓	〇・九六
築堤			一、〇、九三三	三七、四八六	一、〇、九三三	三七、四八六	〇・九三
路面				一八、六九二		一八、六九二	〇・七〇
溝渠			五、四 箇所	一一、二二八	五、四 箇所	一一、二二八	〇・二五
側溝			九、一五 米	七、三八九	九、一五 米	七、三八九	〇・〇九
擁壁			五、四六 箇所	二、七九七	五、四六 箇所	二、七九七	
橋梁			二 箇所	五、〇〇八	二 箇所	五、〇〇八	一・〇〇
其他				一、二二二		一、二二二	
土地買收費			九、一〇 平方尺	二七、二二八	九、一〇 平方尺	二七、二二八	
物件移轉並其他補償費				一、三六六		一、三六六	
器具機械費				一、四〇九		一、四〇九	
雜費				一、四三三		一、四三三	
共濟組合給與金				一、八二二		一、八二二	
總計				一〇三、二二一		一〇三、二二一	三・〇二

豐澤橋架換工事

第二一 國道五號線(秋田)改良工事

緒言

本工事ハ昭和六年度失業救済工事トシテ國ニ於テ直轄施行スル國道改良工事ニシテ總工費二十八萬六千圓ナリトス其工事施行區間ハ秋田市牛島字西方家後ヲ起點トシ同市保戸野表鐵砲町ヲ終點トスル延長三千三百三十六米ニ互ル新設道路ニシテ中間旭川及開川ニハ橋梁ヲ架設スルモノトス

計畫大要

本改良區間ノ舊道ハ秋田市中心地帶ヲ通過ノ處最小道路幅員五米一ニシテ然モ直角屈折多ク近時發達セル自動車等ノ交通上頗ル危險ヲ感ズルヲ以テ早晚之ガ改善ヲ要スルノ實狀ナリ
本計畫ハ其中心線ヲ秋田市都市計畫豫定路線ニシテ將來同市ノ中心地ト見ラルル幹線ニ則リ決定セラレ道路有効幅員ヲ十六米トシ内車道幅員十一米、歩道各側二米、五ナリ車道ハ橫斷勾配二十五分ノ一屋根勾配ニシテ中央長十一米ノ區間ニ半徑二十米ノ弧形ヲ置キ路面ハ水締砂利道トス歩道ハ橫斷勾配三十分ノ一ノ直線勾配ニシテ路面ハ砂利敷道トス而シテ步車道ノ境界ニハ混凝土造リL型排水溝ヲ設ケ延長約四十米毎ニ是ガ集水ヲ爲スベキ集水槽ヲ設ケ之ヨリ水ヲ側溝ニ導クモノトス又起終點ニ於ケル現在道路トノ取付箇所及十號國道トノ交叉箇所ハ何レモ其街角ヲ剪除シ尙街角ニ於ケル步車道トノ境界ハ圓弧ニテ結ブモノトス而シテ道路縱斷勾配ハ最急五十分ノ一、最小二千分ノ一ナリ

旭川及開川横斷箇所ニハ鐵筋混凝土丁桁橋ヲ架設シ前者旭橋ト命名ハ橋長六十二米五二、車道幅員八米四、歩道幅員各一米八即チ全有効幅員十二米ヲ有シ縱斷勾配ハ百分ノ二、拋物線横斷勾配ハ五十分ノ一トス而シテ徑間ハ十二米ニシテ其數五連橋臺、橋脚共地形杭打、栗石搗固メノ上混凝土造トシ橋面ハ車道ニグラノリシツク混凝土歩道ニモルタル鋪裝ヲ施ス後者開橋ト命名ハ橋長二十五米、車道幅員十一米、歩道幅員各一米八即チ全有効幅員十四米六ヲ有ス而シテ徑間ハ十二米二連、縱斷勾配、横斷勾配共ニ前者ニ同じク下部構造竝橋面鋪裝亦前者ト同一トス

在來水路ノ横斷箇所ニハ混凝土樋管又ハ暗渠ヲ設ケ用排水ノ圓滑ヲ期シ既設道路ノ横斷箇所ニハ取付道路ニ適當ナル勾配ヲ附シテ交通上ニ支障ナカラシメ羽越線羽後牛島驛專用側線ト交叉箇所ハ列車運轉回數少ナキ爲メ平面交叉トスルモ支障無シト認メラルヲ以テ踏切設備ヲ爲サントス

本工事ハ失業救済ヲ目的トスルモノナルヲ以テ使役勞働者ハ主トシテ之ヲ失業者ニ求ムルハ勿論其時期、地域竝工法等モ努メテ此目的ニ適應スル様考慮シ要救済者ノ認定、就勞機會ノ均等及特ニ生活困難者ノ優先等其順位統制ニ就テハ關係縣市町村當局竝職業紹介所ト緊密ナル聯絡ニ依ルベク企圖セラレ又可及的其人員ヲ多數ナラシムル爲工事上所要材料砂利、砂、栗石等ハ之ヲ直營ヲ以テ採取スベク計畫セラレ豫定使役延人員ヲ十一萬五千九百人トス

施行狀況

本工事ハ昭和六年四月十一日ニ事務所ヲ設置シテ工事諸般ノ準備ヲ開始セリ用地買收ハ其邊無キ爲メ關係地主其他ヨリ起工承諾書ヲ徴シテ工事ノ施行ニ支障無カラシメ同年五月十六日ヨリ河邊郡新屋町

地内雄物川改修新川開鑿箇所ヨリ道路築造用土砂採取並運搬ヲ開始シ其後準備ノ「終了」ヲ俟チ順次道路及橋梁各方面ノ工事ニ著手セリ當地方ハ例年冬季ニハ寒氣酷烈トナリ連日ノ風雪ト地盤ノ凍結トハ到底作業ニ堪ヘザルヲ慮リ銳意施工ヲ急ギタルモ橋梁工事ニ在リテハ數次ノ出水ニ累セラレ所期ノ如ク進捗セズ少ナカラズ苦心焦慮ヲ重ネシガ幸ニシテ本冬季ハ比較的溫暖ニ經過シ風雪モ亦意外ニ少ナカリシヲ以テ道路及橋梁ノ一部補工ヲ除ク外大體年度内ニ於テ諸工事ノ竣功ヲ見ルニ至レリ

道路築造工事ハ工事區間ノ大部分ハ田地ニシテ殊ニ旭川、開川間ノ田面ハ低地ナル爲メ多量ノ盛土ヲ要スルヲ以テ前述ノ如ク雄物川改修新川開鑿箇所ヨリ短梯掘鑿機一臺雄物川改修工事所屬ヲ操業シテ土砂ヲ採取シ之ヲ二十噸機關車一臺雄物川改修工事所屬ヲ以テ前記低地部築造地點ニ直接運搬盛土セルモ他ハ茨島地内及開川右岸ニ運搬置土シ更ニ之ヲ人力トロヲ用ヒテ其ノ築造地點ニ運搬盛土セリ其土量ハ六萬三千立方米ナリ之ニ一小部分ノ切取土砂並側溝及擁壁築造箇所ヨリ掘鑿直チニ盛土ニ利用シタル土量九百四十九立方米ヲ加ヘ盛土合計量ハ六萬三千九百四十九立方米ナリ

而シテ路床輾壓及土羽打等ノ結果約一割ノ沈下ヲ見其築造體積ハ五萬八千四百七十三立方米ト算セラレ年度内ニ竣功セリ尙取付道路モ同時ニ之ヲ施行シ其數左右各側四十七箇所ナリ

擁壁工事ハ市街地、埋立地並橋梁翼壁ニ接續セル箇所ニ混凝土ヲ以テ築造シ其延長一千二百八米五ヲ年度内ニ竣功セリ

路面工事ハ大體計畫通り施行シ車道延長三千二百四十米四ニハ砂利敷ノ厚ヲ十五糎トシ歩道延長各側合計六千二百七十四米ニハ砂利敷ノ厚ヲ五糎トセリ又山型排水溝ハ延長各側合計六千三百十九米八ニシテ集水槽ノ設置數百六十四個ナリ年度内竣功ノ豫定ヲ以テ極力施行ヲ急ギタルモ春泥ノ爲メ路面仕

上一部ノ輾壓竝砂利補給ハ止ヲ得ズ之ヲ次年度ニ繰越シタリ

溝渠工事ハ在來水路ノ横斷箇所ニ混凝土ヲ以テ其流量ニ適應セル樋管又ハ暗渠ヲ築造セリ其數大小二十四箇所延長四百四十二米ニシテ年度内ニ竣功セリ

雜工事ハ左記ノ通り施行シ何レモ年度内ニ竣功セリ

一羽越線羽後半島驛專用側線ト交叉點ニハ工事用人力トロ運搬軌道假横斷設備工事終了ト共ニ撤去及踏切道設置工事ヲ要シ之ヲ鐵道省ニ委託シ此工費五百九圓ヲ同省ヘ提供セリ

二川尻町北部ニ於ケル本國道横斷ノ水路ハ耕地整理地ノ上流部ニ當リ其數多數ナルト水利系統複雑ナル爲メ工費竝水利關係ヲ考慮シ該地水利組合ノ申請ニ依リ其大部分ノ樋管及暗渠設備ヲ廢止シ之ニ替フルニ附替用水路ヲ施設セリ其延長一千六十一米一、工費一千二十七圓ナリ

第一號橋（旭橋）工事ハ大體計畫通り之ヲ施行シタルモ數次ノ出水ニ遭遇シ基礎工事ニ於ケル河水締切困難トナリタル爲メ中央二橋脚ノ基礎ハ之ヲ混凝土井筒ニ工法ヲ變更セリ各部共年度内ニ於テ大體竣功シタルモ高欄親柱ハ天候ニ累セラレ餘義ナク之ヲ次年度ニ繰越シタリ

第二號橋（開橋）工事モ前橋同様出水ノ爲メ橋脚基礎工法ヲ混凝土井筒ニ變更セリ其他各部共計畫ノ通り年度内ニ竣功セリ

工事用材料採取ハ砂利ヲ雄物川支川岩見川ヨリ砂ヲ雄物川河口ヨリ割石ハ南秋田郡面瀉村地内雄物川改修石材採取場ヨリ各之ヲ採取シ船車又ハ鐵道ニ依リ道路橋梁各所要箇所ニ運搬セリ其數量ハ砂利一萬八百三十四立方米六、砂二千五百五十二立方米三、割石一千七百七立方米ナリ

用地買收ハ前述ノ如ク其當初ニ於テ起工承諾書ニ依リ工事著手ニ支障無カラシメ實地其他ノ諸調査ヲ

急ギ工事進行上宅地及家屋其他物件移轉ヲ第一次ニ田、原野、其他土地ヲ第二次、第三次ノ三回ニ分チ買收セリ土地代金並物件移轉料金ニ就キ二、三異議ヲ唱ヘ價額ノ増額ヲ申出タルモノアリシモ種々折衝ノ結果各次トモ發表價額ヲ以テ圓滿ニ承諾シ年度内ニ登記、物件移轉及代金支拂手續ヲ完了セリ其買收段別六町一段五畝歩土地代金四萬一千四百九十圓、移轉家屋八戸、其他雜物件移轉料四千四百九十九圓ナリ使役勞働者ニ就テハ事業著手當初縣市當局及秋田市職業紹介所ト協議シ失業救済區域ヲ秋田市及其隣接十一箇町村トシ其要救済者ノ範圍ヲ登録シ就勞紹介及其順位統制等ハ之ヲ秋田市職業紹介所ニ委託セリ就役狀況ハ工事最盛期ナル六月ヨリ十二月迄ハ作業上晝夜交替制ヲ採リタル時期多カリシ爲メ一日三百人乃至九百人ノ多數ニ及ビ年度末迄ノ使役延人員ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ十四萬一千二百人其他ニ依ルモノ四千三百人、合計十四萬五千五百人ニシテ前述計畫當初ノ豫定延人員ヲ超ユルコト二萬九千六百人ナリ

本工事本年度竣功高ハ二十八萬一千四百十五圓ニシテ工費豫算殘額四千九百五十五圓ハ次年度ニ繰越シタリ而シテ工費豫算額二十八萬六千圓ニ對シテ九割八分ノ竣功ニ當ル其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘			立方米 九四九	二二〇	立方米 九四九	二二〇	一〇〇
築			五八、四七三	三、七二七	五八、四七三	三、七二七	一〇〇
擁			一、一〇八	四、九〇六	一、一〇八	四、九〇六	一〇〇
路			一、五〇〇	一、六二四	一、五〇〇	一、六二四	一〇〇
溝			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇
渠			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇
面			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇
壁			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇
堤			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇
鑿			二四	一〇、一八八	二四	一〇、一八八	一〇〇

第二二 國道六號線(相馬)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費八萬七千四百圓ヲ以テ茨城縣北相馬郡相馬町大字宮和田ヨリ筑波郡久賀村大字彌左衛門新田ニ至ル延長七百八十米間ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後一萬三千二百七十圓ヲ増額シ十萬六百七十圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

本國道ハ帝都ヨリ千葉縣松戸町、茨城縣取手町、土浦町及水戸市ヲ經テ宮城縣岩沼町ニ於テ四號國道ト聯絡スル路線ニシテ濱街道ト稱シ產業及軍事上ノ要路ナリ現文卷橋ハ延長五十八米四有効幅員四米一ノ木橋ニシテ大正九年ノ架設ニ係リ前後取付道路ニハ屈曲ト勾配ノ急ナルモノアリ尙相馬町側約二百米ノ區別ハ堤外地ニ在リテ出水毎ニ冠水一米ニ達シ交通杜絶スルコト年々數回ニ及ビ國道幹線トシテ放置ヲ許サザル現況ニアリ

計畫ニ於テハ橋梁架設中心線ヲ現在ヨリ約四十米上流ニ撰ビ其前後取付道路ハ相馬町大字宮和田ニテ分岐左折シ延長四百六十米ニシテ右岸橋臺ニ接續シ左岸ハ橋臺ヨリ百七十六米ニシテ久賀村大字彌左衛門新田ニ達シ現國道ニ聯絡ス其延長七百八十米(橋梁延長百四十四米ヲ含ム)幅員七米五ノ砂利道トス而シテ相馬町分岐點附近新設道路兩側延長二百四十米ニハコンクリート側溝ヲ設ケ其他ハ全部畑地ニ盛土スルヲ以テ側溝ヲ附セズ尙取付道路トシテ左岸稻敷郡馴柴村大字小通幸谷地先縣道幅五米五延長

百九十五米ヲ附帶施行スルモノトス

縱斷勾配ハ橋梁接續附近最モ急ニシテ三十分ノ一トナリ右岸ハ延長九十五米左岸ハ百二十米アリ最小縱斷勾配ハ相馬町分岐點附近ニテ四百分ノ一トス屈曲半徑ハ右岸橋臺附近ノ六十米ヲ最小トシ其他ハ百二十米及二百米ナリ

橋梁ハ長百四十四米有効幅員七米五トシ之ヲ徑間十一米ノモノ十二連ニ分割架設ス橋體ハ間隔一米六鐵筋コンクリートT字桁五通トシ橋面仕上ハ厚三糎ノ膠石鋪裝トス又橋脚ハ鐵筋コンクリート門框型トシ基礎ハ左岸常水路内ノ五基ハ外徑三米深十米ノ井筒二個宛トシ右岸堤外地ノ六基及兩岸橋臺ハ杭打基礎トス

施工狀況

工事施行ニ當リテハ先ヅ事務所ヲ久賀村小貝川左岸堤内ニ設置シ測量設計並機械器具ノ蒐集等只管施行準備ニ努メ四月十六日ヨリ工事ニ著手セリ而シテ土工工事ハ文卷橋兩岸取付道路ニシテ其延長六百三十六米ニ互リ所要盛土量ハ八千四百九十三立方米ニ上リ内四千八十九立方米ハ附近堤外畑地ヨリ補償採取シ其他ハ橋脚基礎附近ヨリ掘鑿セリ之ガ土運搬ハ人力トロニ依リ六月十日著手次デ左岸馴柴村大字小通幸谷地先縣道取付延長百九十五米ヲ附帶施行シ何レモ年度内完成セリ

路面ハ側溝完成後盛土ノ相當沈下ヲ俟チ徑三糎乃至六糎以下ノ砂利ヲ厚九糎ニ敷均シ充分ニ輾壓ヲ施シ面積六千百三十三平方米ヲ竣功セシメタリ

文卷橋ハ架設地點地質調査ノ結果其上部ハ砂層ニシテ下部ハ相當硬質ノ粘土層ナリ橋臺及橋脚基礎ノ

内兩岸橋臺及右岸堤外寄橋脚六基ハ杭打ニシテ各基共長四米、末口十五糎、松丸太三十五本ヲ人力打込ヲ爲シ左岸寄五基ハ井筒ニシテ沈下ハ上層ハガットメルニ依リ下層ハ粘土質ニテ湧水少キ部分ハ水替ヲ爲シ人力掘鑿施行シ假荷重ヲ加ヘツツ沈下セシメタリ斯クテ基礎完成ノ後軀體及上構工事ニ著手シ七年三月三十一日全部竣功ヲ告グルニ至レリ
 斯クテ官民地境界杭ノ設置其他雜工事ヲ施行シ僅少ノ跡片付等ヲ殘シ年度ヲ越セリ
 本工事ニ依リ使用スベキ勞働者豫定延人員ハ三萬一千百九十九人ニシテ年度末迄ニ實際使用シタル延人員數ハ町村役場又ハ町村組合利用ニ依ルモノ三萬五千百八十八人、其他二千九百四十三人、計三萬八千三百三十一人トナレリ
 本工事竣功高ハ十萬百二十五圓ニシテ工費豫算十萬六百七十圓ノ内五百四十五圓ヲ翌年度へ繰越スコトトナレリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本道			六三六米	九、九八八	六三六米	九、九八八	一、〇〇〇	一、〇〇〇
工事橋			第一箇所	六、七七一	第一箇所	六、七七一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
費其			九段	一、三三三	九段	一、三三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
土地								
買収								
物件移轉其他補償費								
機械費								
雜費								

費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣功 歩合
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
共濟組合給與金	—	—	—	三 四	—	三 四	—
總 計	—	—	—	一〇〇、二二五	—	一〇〇、二二五	〇・六二

第二三 國道六號線(水戸)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費十九萬八千六百圓ヲ以テ茨城縣水戸市大字上市北三丸ヨリ那珂郡川田村大字枝川字鳴戸ニ至ル延長二千四百八十米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後九萬七千九百七十圓ヲ増額シ二十九萬六千五百七十圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

本改良區間ハ在來國道六號線水戸停車場前ヨリ那珂郡川田村大字枝川ニ至ル市内下市ハ幅員一般ニ狹隘ニシテ電車軌道ヲ有シ且國有鐵道ノ平面交叉ヲ爲スモノ三箇所アリ加之客貨車入替連結等ノ爲メ交通ヲ遮斷スルコト一日數十回ニ及ビ而モ水戸驛前ヨリ川田村枝川ノ間ハ那珂川ヲ隔テテ目前ノ地點ニ有ルモ遠ク迂回シ市中二十有餘ノ屈曲ヲ經テ漸ク之ニ達スルノ狀態ナルヲ以テ其交通ノ不便甚ダ大ナルモノアリ而シテ現國道ニ架セル木造壽橋ハ幅員僅カニ五米六三ニシテ大正元年ノ架設ニ係リ腐朽甚シク自動車及一般交通ノ繁激ニ適應セザルヲ以テ之ガ改良計畫トシテ水戸驛前ヨリ現國道ヲ左折シ在來市道ヲ利用シ刑務所下手ニ於テ那珂川ニ架橋シ柳河村青柳ニ達シ茲ニ水郡南線ヲ跨線橋ニ依テ横斷シ更ニ早戸川ニ架橋シ終點川田村枝川ニ於テ現國道ト合致セシムル事トセリ其延長二千四百八十米ニ

シテ現國道ヨリ短縮スルコト約二千四百八十米ニ及ベリ

本工事ハ起點ヨリ那珂川ニ至ル延長六百五十一米ハ有効幅員九米、五那珂川ヨリ終點ニ至ル延長一千六百三十一米三ハ七米五トシ路面砂利敷トス水戸市内ハ兩側ニ延長一千四百四十米六ノコンクリート側溝ヲ設ケ其他ハ畑地ノ盛土ナルヲ以テ側溝ヲ設ケズ

起點ヲ發シ稍暫クハ勾配極メテ緩ニシテ跨道橋大手橋附近延長二百五十米ハ三十分ノ一ニテ最急勾配ヲ示シ圖書館下ヲ半徑三百米ニテ右廻リニ河岸ニ達シ水府橋ヲ渡リ水郡南線跨線橋前後ハ四十分ノ一半徑一千米ニテ左廻リシテ以下四百分ノ一ノ勾配ニテ終點ニ達ス

新路線ハ大體一直線ヲ爲シ三橋ノ外二函渠、四溝渠竝三管渠ヲ有ス起點ヨリ那珂川迄ハ舊城趾北三丸丘陵地切割ノ現道ヲ擴張スルモノニシテ掘鑿土量八萬四千立方米ニ達ス之ハ悉ク假橋ニ依リ左岸ニ運ビ道路盛土ニ利用セル外地ニ捨土スルモノトス

橋梁工事ハ那珂川ニ架設スベキ水府橋ハ全長百七十一米有効幅員十米（車道六米
歩道各二米）ニシテ徑間五十六米ノモノ三連垂直材ヲ有スル曲弦ワーレン型鋼構桁ニシテ橋面ハ鐵筋コンクリート床版上ニ車道ニハ日立アスファルトブロック鋪裝ヲ爲シ歩道ハモルタル鋪裝トス橋臺ハ扶壁式鐵筋コンクリート杭打基礎トシ橋脚ハ鐵筋コンクリート井筒基礎ノ上ニ軀體コンクリートヲ築造ス

國有鐵道水郡南線跨線橋ハ其全長十六米二徑間五米、有効幅員九米ニシテ橋臺ハ鐵筋コンクリート框構ニシテ杭打基礎ナリ橋體ニハI型鋼桁ヲ用ヒ橋床ハ鐵筋コンクリート床版上ニ膠石鋪裝ヲ爲スモノトス川田村地内ノ小流早戸川ニ架スル早戸橋ハ長十米五徑間九米五、有効幅員七米五橋臺ハ杭打基礎重力式鐵筋コンクリートトシ橋體ハ鐵筋コンクリートT型桁五通リヨリ成リ橋面ニハ三和土ヲ以テ鋪裝セント

施工狀況

昭和六年四月十一日那珂川右岸近クニ改良事務所ヲ設ケ直チニ土工器具機械竝工事用材料ノ蒐集等施行準備ニ努メ先ヅ掘鑿土運搬ノ爲那珂川ニ假橋ヲ架シ六月十五日ヨリ掘鑿運搬ヲ開始セリ盛土用土ハ上市北三丸地内新路線ニ當ル舊水戸城趾ノ高臺掘鑿ニ依リテ生ジタルモノヲ人力トロニテ左岸迄運ビ夫ヨリ人力及ガソリン機關車ニテ盛土箇所ニ運搬セリ掘鑿箇所ハ直高二十米内外ノ高臺ニシテ土質ハ東京附近高臺ノモノト同ジク褐色硬質性ナリ運搬距離遠ク途中假橋及鐵道線路等ノ爲メ能力ヲ阻害サレシコト多カリシモ銳意進工ヲ計リシ結果八萬四千七十八立方米ヲ掘鑿運搬シ豫定ノ通り年度内ニ完成セシメタリ

路面ハ是等工事ノ進捗ニ伴ヒ且盛土相當沈下ヲ俟チ厚十糎ノ砂利敷ヲ行ヒ六噸デイベルローラーニテ充分ニ輾壓ヲ施シ總面積一萬八千四百七平方米八五ヲ完成セリ

橋梁三箇ノ内水府橋ハ地質調査ノ結果上部ハ砂層、砂利層等アルモ厚キ粘土層ヲ挾ミ軟弱ニシテ信賴シ得ベキ軟岩層ガ右岸ヨリ左岸ニ向ツテ甚シク急斜シ四米五乃至一八米ノ處ニアリ依テ右岸橋臺ハ松丸太長四米、五左岸橋臺ハ米松丸太長十八米二ノモノヲ使用シテ杭打基礎トシ橋脚基礎ハ井筒沈下ニ依リ右岸寄ノモノ十一米、左岸寄ノモノ二十米ニテ軟岩層ニ達セシム施行ハ渴水期ヲ利用シテ六月十三日下部工事ニ著手シ爾來銳意工事ノ進行ヲ計リ僅々六箇月餘ニシテ井筒沈下及軀體工ヲ終リタリ上部工タル鋼構柁ハ總噸數約五百九十噸アリ製作及架設共之ヲ横濱船渠會社ノ請負ニ附シ十二月十九

日ヨリ架設ニ著手シ七年三月二十日竣功シ直チニ高欄、橋床等ノ施行ニ努メシモ僅ニ少部分ヲ殘シ本年
度内ノ竣功高ハ約九十六%ニ當レリ

青柳橋ハ跨線橋ニシテ鐵道省ノ承認ヲ待チテ九月一日漸ク著手シ晝夜續行工ヲ急ギ僅ニ二箇月餘ニシ
テ本體ヲ竣成シ土運搬ノ便ニ供ヘツツ七年三月十五日完成セリ

早戸橋ハ早戸川（下流鳴戸川）ニ架設セルモノニシテ出水期ヲ避ケ十一月二十五日起工翌七年三月十四日
竣功セリ

本事業ニ依リ救済サルベキ勞働者ハ使用豫定延人員十一萬二百七人ニシテ年度末迄ニ使用セル延人員
ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ八萬六千七百八十七人、其他ニ依ルモノ一萬二千九十七人、合計九萬八千八
百八十四人トナレリ而シテ工事完成迄ニハ豫定員數ニ達スルノ見込ナリ

本年度竣功高ハ二十七萬九千四百四十三圓ニシテ豫算二十九萬六千五百七十圓ノ九割四分ノ竣功ニ當レ
リ其竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道			米 二、八八二	四、七三三・四四	米 二、八八二	四、七三三・四四	割分 一・〇〇
工事			箇所 二一	一四八・九七	箇所 二一	一四八・九七	〇・九六
費其			二六段	四、一四一	二六段	四、一四一	一・〇〇
土地				二、二〇〇		二、二〇〇	
買収				六、三三四		六、三三四	
物件移轉其他補償費				八、〇五六		八、〇五六	
機械費							

總計	雜費		共濟組合給與金	
二九、四三	九六二	三三、八九二		
二九、四三	九六二	三三、八九二		
〇・〇				

第二四 國道七號線(小岩)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算四十二萬七百二十六圓ヲ以テ府下南葛飾郡松江町大字東小松川ヨリ同郡小岩町大字下小岩ニ至ル延長二千二百九十米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後三十五萬三千二百二十六圓ニ減額施行スルコトトナレリ

計畫大要

七號國道ハ東京ヨリ千葉縣市川町ヲ經テ終點千葉市ニ至リ更ニ房總地方ニ通ズル外市川松戸間ノ道路ニ依リ六號國道陸前濱街道ト相通ゼルヲ以テ車馬ノ通行一日自動車一千五百臺、自轉車三千臺ニ達シ人馬ヲ併セタル交通總量六千ヲ算スルコト尠カラズ殊ニ中山競馬ノ開催ニ當リテハ最多一時間ノ通行自動車四百八十臺ニ上リ又屢千葉方面ニ於ケル陸軍諸部隊ノ軍用路トシテ兵馬竝砲車及戰車等ノ重交通頻繁ナリ現在道路ハ幅員約八米ノ砂利道ニシテ其兩側ニハ幅員一米乃至一米八ヲ有スル水路アリ此外中井掘、東井掘ノ二用水路ハ本道路ヲ横斷シ之ニ菅原橋及二枚橋ヲ架設セラレ是等ノ水路ハ何レモ附近九箇町村耕地二千五百町歩ノ用排水ヲ司リ水利關係極メテ重大ナルヲ以テ暗渠、伏越、溝橋等ヲ設備セラ

ルモノナリ

改良計畫ハ松江町ヨリ小岩町ニ至ル延長二千二百九十米、橋梁延長二十三米一二ヲ含ムノ内松江町起點

ヨリ五百六十八米〇六ハ在來水路ヲ埋立テ有効幅員ヲ十三米七三トシ歩車道ハ高低分離トセザルモ左側一米五、右側二米ヲ歩道ニ宛テ中央十米二三ヲ車道トセリ

以下工事終點迄ノ間ハ菅原橋附近ニ於テ一部十一米九トセル外概ネ十一米トシ中央八米乃至八米九ヲ車道ニ兩側一米五ヅツヲ歩道トス路面ハ凡テセメントコンクリート鋪裝トシ下層ハ配合一、三、六砂利コンクリートヲ用ヒ上層ハ配合一、二、四碎石コンクリート若クハ配合一、一、八、五膠石トシ横斷勾配ハ四十分ノ一ノ双曲線トス縱斷勾配ハ通常五百分ノ一トシ菅原橋ノ前後延長二十一米七及三十九米八ノ間ニ於テ最急五十分ノ一ヲ採リ路面排水ハ道路兩側ニ竝行セル水路ニ直接排水セシメ竝行水路ヲ有セザル部分ニハ兩側ニ幅員零米四五ノ側溝ヲ設置シ松江町ニ於テ水路ノ埋立ヲ爲セル部分ハ田面ニ排水セシム道路ノ中心線ハ都市計畫委員會ノ決定線ニ依リ幅員ハ凡テ道路左側ニ擴張シ全延長ニ於テ六箇所ノ曲部アルモ殆ンド直線ニ近ク最大屈曲角度百七十五度四分ニ過ギザルニ依リ凡テ直線ヲ以テ接續セシム道路改良ニ伴ヒ左側ハ水路ノ付替ヲ要シ擁壁、暗渠、溝橋等ノ諸工事ヲ附帶施行シ路側惡水路ノ二大用水路ト交叉スル箇所ニハ伏越ヲ設ク

菅原橋ハ長九米三ノ鐵筋コンクリートT型桁式、二枚橋ハ長十三米八ノI型鋼桁式及函渠型ヲ竝置セルモノニシテ何レモ近年新設セラレタルモノナルヲ以テ現在橋型式ニ準據シ有効幅員ヲ道路幅員ニ等シク十一米ニ擴張ス

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十一日東京府下鹿本村松本ニ假事務所ヲ設ケ同十六日施行準備ニ著

手五月一日事務所新設成レルヲ以テ之ニ移轉シ六月一日工事ヲ開始セリ。

工事ハ土地買収及家屋移轉終了ヲ待チ道路ノ擴張ヲ先ニシ成ルベク交通遮斷ヲ行ハズシテ其進捗ヲ計ル方針ヲ以テ新設水路ヲ付替ヘ水路ニ附帶スル擁壁、土留柵、橋梁、溝渠、伏越及側溝等ヲ施行シ其間電柱、人孔、水準基標等ノ路面障碍物ノ移轉ヲ終了セシメ擴張路面ノ一般通行ヲ計リ自然輾壓ニ依リ路床ヲ固メツツ路面鋪裝工ニ移レリ其施工狀況左ノ如シ

水路工ハ道路延長二千二百九十米ノ兩側ニ幅員一米乃至一米八ヲ有スル水路延長三千五百米アリ内五百六十二米ハ埋立テ一千二百三十米ハ付替ヲ爲シ残り一千七百八米ハ在來ノ儘存セシモ是等ニ要セシ擁壁ノ移築セシモノ一千八百三十八米九補修セシモノ九百八十九米九ニシテ水路付替ヲ行ヒタルモノハ路肩ニ擁壁ヲ作り擁壁ニ相對シ土留板柵ヲ設ケ水路ヲ埋立タルモノハ路肩ニコンクリート板柵ヲ施シ水路無キ所ニハ凡テ側溝ヲ設ケタリ

路面工ハ路面ハ標準幅員ヲ十一米トセルモ成ルベク幅員ヲ擴大スルコトトシ松江町ニ於テハ左側水路ノ埋立ヲ爲シ幅員ヲ十三米七三ニ菅原橋取付附近ニ於テハ十一米九ニ左側水路ニ沿フル一帶ハ十一米一五トシ側溝ニ沿ヒ擴張ノ餘地無キ沿道ノミヲ所定ノ十一米トセリ水路埋立ハ江戸川高水敷ヨリ自動車運搬ヲ爲シタルガ此部分ハ地盤軟弱ナルヲ以テ割石ヲ詰メ且コンクリートヲ厚クシタリ道路ノ兩側ハ擁壁、コンクリート板柵、側溝若クハ境界石ヲ以テ限リ路面ハ歩車道ニ區別シ何レモ上下二層ノコンクリート鋪裝ヲ施行シ面積二萬五千七百三平方米三ヲ竣成セリ

附帶工事トシテ整理セシモノハ橋梁二、溝渠八、暗渠三、伏越二ニシテ何レモ用惡水路ニ關聯シ夫々地先ノ利便ニ應ジ補修若クハ改造ヲ施シ其他砂及砂利採取等ノ雜工事ヲ施行シ少許ノ跡片付ヲ殘シ年度内ニ

全部竣功セリ

本工事ニ依リ使用スベキ労働者豫定延人員ハ七萬八千五百人ニシテ年度末迄ニ使用シタル實際員數ハ東京府大島、砂町、兩職業紹介所利用ニ依ルモノ五萬二千六百三十三人、其他ニ依ルモノ三萬九千九百六十七人、合計九萬二千六百六十ナレリ

本工事竣功高ハ三十四萬四千二百六十三圓ニシテ工費豫算三十五萬三千二百二十六圓ノ内八千八百六十三圓ヲ翌年度へ繰越スコトナレリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數	量金額	數	量金額	數	量金額	
本道							1.00
工事橋梁							1.00
費其							1.00
土地買収							
物件移轉其他補償費							
器具機械費							
雜費							
共濟組合給與金							
總計							0.97

第二五 國道七號線(市川)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費四十二萬八千圓ヲ以テ千葉縣東葛飾郡市川町大字市川地先及市川町大字平田ヨリ同郡葛飾町大字小栗原ニ至ル延長三千百七十七米五三ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後同郡津田沼町ヨリ千葉市登戸ニ至ル間ニ於テ三箇所合計延長四千三百八十六米九五ヲ追加シ總延長七千五百六十米四五ヲ施行スルコトナレリ

計畫大要

七號國道線ハ前記松江町小岩間ノ項ニ於テ記述セシ如ク市川町ヨリ葛飾町ニ至ルハ人家連擔シ幅員七米八アリ又津田沼町ヨリ千葉市ニ至ル間ハ人家稀ニシテ幅員概ネ七米アリ其左側ハ山林多ク右側ハ直チニ海岸砂地ニ接ス輓近重交通激甚ノ爲メ現路面ノ維持漸ク困難ヲ覺ユルニ至レリ
計畫ニ於テハ市川町ヨリ葛飾町ニ至ル間ハ現道路ヲ利用シ幅員擴張ニ依ル家屋移轉ハ努メテ一側ニ限リ道路有効幅員車道八米、歩道兩側各一米五トシ歩車道ハ平面區別トセリ路面構造ハ現在道床ヲ充分固メ此上ニ車道ヲ厚六糎細粒式及粗粒式アスファルトコンクリート、歩道ハ厚十二糎コンクリート鋪裝ヲ施シ排水ヲ目的トスル側溝ハ幅員擴張側ニ新設シ片側ハ從來ノ側溝ヲ利用ス道路ヲ横斷セル從來ノ鐵筋コンクリート排水管ハ繼足又ハ必要ニ應ジテ新設シ橋梁ノ内八幡町地先水本橋ハ擴張三米六三徑間

三米、六五境橋ハ擴張四米、一徑間五米四五此外溝橋ハ共ニ繼足擴張ヲ爲サントス最急縱斷勾配三百三十分ノ一、其延長九十米、最小屈曲半徑五十米ナリトス
津田沼町ヨリ千葉市ニ至ル間ハ在來道路ヲ海岸側ニ擴張シ幅員ヲ十一米トシ擴張部分ニ對シテハ碎石厚八糎ヲ敷込ミ其法腹面ニハ芝張ヲ施シ在來鐵筋コンクリート管及暗渠ハ繼足シ必要箇所ニハ排水管ヲ新設海中ニ流下セシム右側海水ニ直面スル區間ハ高一米五ノコンクリート擁壁ヲ設置ス最急縱斷勾配一千分ノ九、延長百二十米、最小屈曲半徑百米ナリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月東葛飾郡中山町ニ改良事務所ヲ設置シ直ニ施行準備ニ著手スルト共ニ土地買收協議ヲ開始シ其進捗ニ伴ヒ五月上旬ヨリ工事ヲ施行セリ今各地先ニ付其概要ヲ述ベン
市川町ヨリ葛飾町ニ至ル間ハ土地買收、家屋移轉ニ從ヒ移轉跡及路面不陸ヲ鋪裝基礎面ニ掘鑿並盛土等ノ土工工事ニ著手シ不足土砂ハ人力運搬ニテ江戸川高水敷ヨリ採取補充シ其規定面ニ出來セル部分ヨリコンクリート側溝ノ新設改築又ハ嵩上ヲ施行セリ而シテ八幡簀ト衣川ノ二溝橋擴張排水管ノ繼足及新設ノ伏込ミ等其完成ヲ俟テ路面擴張部分ハ平均幅三米、五厚五糎ニ碎石ヲ敷込ミ十糎半マカダム形デイルーゼル及八糎テハダム形デイルーゼル輾壓機ニ依リ輾壓ヲ行ヒ尙車道部ハ厚十二糎コンクリート基礎ヲ施工シ歩道ハ兩側共幅一米五、下層九糎ニ配合一、三、六其表面ニ厚三糎、配合一、二、四コンクリート鋪裝ヲ施行セリ車道鋪裝ハ市川町大字市川地先延長五百七十三米三八厚六糎細粒式アスファルトコンクリートヲ市川町大字平田ヨリ八幡町大字八幡地先ニ至ル延長九百七十米ハ同厚ノ粗粒式アスファルトコン

クリートニテ鋪裝シタリ是等ハ性能厚二吋ニ於テ七百七十平方碼可能ノカマーアスファルトプラント
作業ニ依リ施工シ八幡町大字八幡ヨリ中山町大字鬼越ニ至ル延長一千六百三十四米二ハ厚六糎ノ粗粒
式アスファルトコンクリートニシテ都合上大倉土木會社請負ニ附シ施工セシメタリ
八幡町地先水本橋及境橋ハ何レモ鐵筋コンクリートヲ以テ幅員ヲ擴張シ附近擴張部分ノ路面ハ其境界
ニ高一米乃至一米三ノ鐵筋コンクリート擁壁ヲ施工セリ

津田沼町ヨリ千葉市ニ至ル間ハ土地買收僅少ナルヲ以テ直チニ土工及路面工ニ著手シ其運搬總土量二
萬五千六百十六立方米、内八千六十立方米ハ民有山林ヨリ採取運搬シ規定擴張道路幅ニ盛土ヲ施シ路面
ニハ厚八糎ニ碎石ヲ敷均シ進捗ニ從ヒ左側全長ト右側一部ノ官民境界ニコンクリート側溝ヲ施工スル
ト共ニ排水管繼足及新設竝鐵筋コンクリート構造暗渠ノ擴張繼足ヲ施工シ海岸側ハ高一米五コンクリ
ート擁壁延長一千四百十二米五六ヲ最滿潮面上零米五ノ高ニ築造セリ斯クテ僅カノ跡片付ヲ殘シタル
外豫定ノ如ク年度内全部ヲ竣功セリ

使用シタル勞働者ハ職業紹介所利用ニ依ルモノ三萬九千二百四十三人、其他二萬八千九百五十五人計六
萬八千八百九十八人ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功額		本年度竣功額		合計	
	數	量	數	量	數	量
本道		米		米		米
工事						
橋						
費其						
土						
地						
買						
收						
費						
他						
梁						
路						
竣功						
合						

第二六 國道八號線(府中)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算四十萬二千九百五十三圓ヲ以テ東京府下北多摩郡府中町ヨリ同郡谷保村ニ至ル延長二千米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後南多摩郡小宮村ニ至ル延長六千九十三米ヲ追加シ計八千九十三米トシ工費二十二萬三千圓ヲ増額シテ六十二萬五千九百五十三圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

八號國道ハ東京ヨリ山梨縣甲府市ニ至ル路線ニシテ府中町ニ至ル迄ハ五年度東京府ニテ現道幅ノ儘鋪裝ヲ終リタルモ夫ヨリ西方ハ南多摩郡日野町地内延長二千百十五米ノ區間十一米ヲ除ク外概ネ六米乃至七米ノ砂利道ナリ沿道地ハ概シテ宅地竝畑地ナリ路面ハ近時各種自動車竝車馬ノ通行頻繁ヲ加ヘ維持ニ困難ヲ來シ甚ダシク損傷セラレツツアリ本計畫ニ於テハ府中町京王電車踏切箇所ヨリ谷保村南武鐵道跨線橋西手ニ至ル二千米及追加トシテ谷保村地内延長一千二十二米ヲ有効幅員十五米九乃至十五米トシ且歩車道ヲ區別シ車道ハ九米ノ膠石鋪裝トス(上層一、二、八厚五糎ノ硬石
下層一、三、六厚十五糎ノコンスクリート)歩道ハ各三米四五ノ砂利敷トシ追加部ハ鋪裝ヲ後日ニ讓リ砂利道トス路面排水ニハ街渠及雨水樹ヲ設ケ兩側民地排水ノ爲ニ汚水樹ヲ設ケ各導水管ニ依リテ歩道下ニ埋設セル排水管ニ通ジ附近ノ水路ニ放流セシムルモノトス日野町地内日野市街東端ヨリ日野橋ニ至ル間及省線架道橋以西二千百十五米ノ間ハ有効幅員十一米ア

リ此部ニハ中央ニ幅七米ノ前述同様ノ膠石鋪裝ヲ爲スモノトス

日野町西端ノ一部及小宮村ニ至ル高臺上延長二千四百四十三米ハ有効幅員十一米ニ擴張シ歩車道ヲ區別セズ砂利敷トシ路面排水ハ兩側ニ側溝ヲ設ケ内延長三百二十三米間ノ路面ト兩側地面勾配相反スル箇所ハ一旦側溝ニ集メ更ニ排水渠ニ導キ排水スルコトトセリ

夫ヨリ以西小宮村地内八高南線架線橋ヨリ西方延長五百十三米間ハ八王子市都市計畫ノ決定ニ準據シ有効幅員二十二米トシ土工及砂利敷ノミニ止メタリ

縱斷勾配ノ最急ハ小宮村地内終端箇所延長三百十一米間三十分ノ一トシ最小ハ西府村地内延長百五十米間ノ四百分ノ一ニシテ最小屈曲半徑ハ日野町地内ノ百五十米ナリ

橋梁ハ跨線橋西府橋ノ高欄ヲ鐵筋コンクリートニ改築スルモノトス

施工狀況

昭和六年四月十一日府中町字片町ニ假事務所ヲ設ケ用地買收地上物件移轉ニ關スル調査竝器具機械ノ搬入等諸般ノ準備ニ努メ測量調査用地地均シ等ヲ開始シ同月二十四日府中町字雨久保ニ新築セル新事務所ニ移轉セリ工事施行當初ハ二箇所ニ見張所ヲ設ケ諸工事ヲ分擔セシガ其後小宮村迄延長施行スルコトトナリタルヲ以テ更ニ谷保、北原、日野、小宮、大和田ニ見張所ヲ設ケ各工事ヲ施行セリ

土工ハ六月一日先ヅ府中町、谷保村間ニ著手次デ谷保村ヨリ小宮村ニ至ル間ヲ順次施行シ土砂七萬七千九百六十七立方米ヲ掘鑿内八千四百十八立方米ヲ盛土箇所へ搬入シ其殘土ハ附近民有地へ捨土シ谷保小宮ノ兩地先ヲ除キ他ハ全部竣功セリ

街渠ハ府中町ヨリ谷保村ニ至ル延長三千七百五十三米ヲ六月十七日ヨリ起工シ尙追加工事トシテ谷保村地内延長一千九百九十八米ヲ施行シ前者ハ年度内ニ竣功セシモ後者ハ七步通ヲ竣功シ殘餘ハ翌年度ヘ繰越トナレリ

側溝ハ日野町ヨリ小宮村ニ至ル延長二千四百四十三米間ニ於テ舊側溝ノ内一千四百三十米ヲ除却シ新ニ延長四千八百七十四米ヲ設クルコトトシ年度内竣功セシメタリ

排水渠ハ府中町ヨリ谷保村ニ至ル間及小宮村地内ニシテ其延長六千十米ニ互リ六月二十日ヨリ著手シ谷保村地先一部未竣功ナルモ他ハ全部年度内竣功セリ

暗渠ハ道路横斷排水ヲ目的トシ谷保村及日野町地内ノ二箇所ニ施行シ前者ハ未竣功ニ終リ後者ハ年度内竣功セリ鋪裝ハ府中町及谷保村間二千米ノ膠石鋪裝三萬一千四百六十三平方米ヲ完了シ歩道ハ同區間ニ厚七糎ノ砂利敷ヲ施行シ面積一萬一千九百九十七平方米ヲ竣功セシメタリ谷保村地内延長一千二百米及日野町ヨリ小宮村ニ至ル延長二千三百八十六米ハ砂利敷ヲ爲スモノニシテ年度内僅ニ二步通ヲ施行シ其他ハ翌年度ヘ繰越シタリ

擁壁ハ谷保村地内延長三百三十一米ニ互リ盛土箇所法先及切取箇所民有地防護ノ爲メ築造スルモノニシテ他ノ工事トノ關係上漸ク二月十一日ニ至リ著手七步通ヲ竣功セシメ其餘ハ翌年度ヘ繰越トナレリ其他境界石及西府村地内西府橋高欄改築工事ヲ施行シ道路工事全體ヲ通ジ約九十二パーセントノ竣功ヲ見年度ヲ超ヘタリ本工事用玉石砂利及砂等ハ日野町地先多摩川原ヨリ直營採集スル計畫ノ下ニ十二月十六日ヨリ著手シ玉石一千六百十七立方米、砂利八千三百二十九立方米及砂二千三百九十八立方米ヲ採集シタリ

第二七 國道八號線(河口)改良工事

緒言

本工事ハ當初工費豫算十六萬五千四百四十五圓ヲ以テ山梨縣南都留郡船津村ヨリ同郡河口村ニ至ル延長四千九百十九米七ヲ施行スル豫定ナリシガ其後一萬一千七百五十圓ヲ減額シテ十五萬三千三百九十五圓ヲ以テ施行スルコトトセリ

計畫大要

本國道中所謂御坂峠ノ險崖ハ曩ニ山梨縣ニ於テ隧道開鑿及其前後山道ノ改鑿トヲ併セテ實施セルヲ以テ本改良工事ハ其南麓ナル南都留郡船津村字大久保ヨリ同郡河口村字庖橋地先前記開鑿道路ニ至ル延長四千九百十九米七ノ區間ナリトス

本改良區間ハ概ネ河口湖畔ニ連レル山麓ニ沿ヒ小曲崎及産屋ヶ崎ヲ迂回シ幅員僅ニ三米四ニシテ紆餘屈曲甚ダシキヲ以テ改良計畫ニ於テハ大體現道ヲ利用シ河口湖畔ニ沿ヒ屈曲ヲ緩和シ小曲崎ト産屋ヶ崎ノ突出部ハ之ヲ隧道ニ改ムルコトトシタリ

改良道路ノ總延長ハ四千九百十九米七、內橋梁八箇所、延長二十六米五八、隧道二箇所、延長七十三米ニシテ有効幅員六米横斷勾配二十分ノ一、縱斷最急勾配三十分ノ一、長百六十米、最小曲線半徑三十米、延長二十八米一ナリ盛土法勾配ハ最小一割最大三割以上切取法ハ一割乃至一割二分トシ岩石切取箇所ハ岩質ニ依

リ二分乃至六分トシ尙岩質又ハ土質ヲ斟酌シ割石又ハ玉石コンクリート練積或ハ空石積壁ヲ設クルコ
事セリ河口湖水面ニ接スル箇所ニハ波浪ニ備フル爲メ割石コンクリート練積擁壁ヲ施シ其他路側ノ石
積ハ頂部表面幅五十糎厚三十糎ノ玉石入コンクリートヲ加ヘ積石ノ轉落ヲ防グコトトセリ
路面ハ隧道内及其前後一部ヲコンクリート鋪裝ト爲スノ外ハ凡テ砂利道トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ水
路横斷箇所ニハ廣狹ニ依リ鐵筋コンクリートT型橋一、同床版橋六、拱橋（繼足）一、計八橋ニシテ其他鐵筋コ
ンクリート函型渠四箇所、鐵筋コンクリート管敷設二十一箇所ニシテ内徑四十五糎五箇所、内徑三十糎十
六箇所等ヲ施設スルコトトセリ

施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和六年四月十一日船津村大字船津ニ改良事務所ヲ設置シ測量、設計、所要土地ノ買
收並器具機械ノ運搬等施行準備ニ著手シ工事ハ隧道ヲ除キ其他ヲ三區ニ分チ五月十六日河口村地先延
長五百三十七米ニ同月二十五日船津村地先延長一千百十米ニ次デ全區ニ互リ各土工工事ヲ開始セリ而
シテ擁壁、路面隧道其他諸工事ハ土工工事ノ進捗ニ伴ヒ施行シ尙隧道ノ如キハ土地使用協議ノ調定後レ
シ結果短期間ニ迫ラレシ爲晝夜兼行ノ結果漸ク豫定通り年度内全部完成ヲ見ルニ至レリ以下其概況ヲ
記述スベシ

工事施行ニ當リテハ最モ勞力ヲ要スル土工ニ主力ヲ傾注シ土砂運搬ハ其距離ノ遠近ニ依リ輕便軌條或
ハ畚運搬ニ依レリ而シテ全區域ニ互ル所要土砂ハ先ヅ掘鑿土ヲ以テ之ニ充テ不足分ハ之ヲ湖畔ヨリ採
取セリ又小曲崎及産屋ヶ崎兩隧道前後坑口並其他點在セル一部岩盤掘鑿ハ火藥爆破ヲ行ヒ土運車又ハ

谷ニテ盛土箇所へ運搬シ土砂岩石合計三萬三千三百六十七立方米ノ土工ヲ完成シタリ
路面ハ土工、擁壁、側溝等ノ進行ニ伴ヒ漸次著手シ先ヅ路床ノ下敷トシテ砂利厚約十糎ヲ敷均シローラー
輾壓又ハ人力ヲ以テ搗固メタル後其上層部ニ切込砂利厚七糎ヲ撒布シ更ニローラー轉壓ヲ行ヒ仕上ト
爲シ總面積七千二百六十七平方米ヲ竣功セシメタリ又兩隧道内七十三米及其前後八十米ニハコンクリ
ート鋪裝ヲ施行セリ

道路左側ノ湖水ニ接スル區域ト河口村內盛土法ノ一部ニ設クル擁壁ハ高及地形ニ應ジ練石積又ハ空石
積ト爲セリ河口村內兩側人家連檐セル箇所ハ直高平均五十糎ヲコンクリート壁トセリ是等總テノ築石
ハ一個六十疋以上ニシテ黒灰色ノ熔岩割石ヲ用ヒ名勝地風光ヲ損セザルニ努メタリ

切取及盛土ノ法先ニハ側溝ヲ設ケ道路側ハ總テ直高三十糎乃至一米二ノ練石積トシ溝底幅ハ三十糎乃
至八十糎トシ外側石積箇所ハ地質及高低ニ應ジ石積高ヲ定メ練石積又ハ空石積ヲ施シ練石積ハコンク
リート配合一、三、六トシ築石ハ一個六十疋以上竝雜石又ハ玉石ヲ使用セリ

暗渠ハ函形渠トシ憑臺ハ玉石入コンクリート側壁配合一、三、六或ハ割石積ヲ用ヒコンクリート配合一、三、
六練積トシ床版ハコンクリート配合一、二、四ヨリ成ル鐵筋コンクリートニシテ五箇所ヲ施行セリ

橋梁ノ憑臺ハ割石ヲ用ヒコンクリート配合一、三、六ノ四周練積トシ中埋ニ玉石入コンクリートヲ結込ミ
橋體ハコンクリート配合一、二、四ヨリ成ル鐵筋コンクリート床版、拱環又ハT型桁トセリ

隧道ハ小曲崎及産屋ヶ崎ノ二箇所ニシテ何レモ有効幅員五米六トシ兩側ニ幅四十五糎ノL型側溝ヲ設
ケ内法中央高五米一、三圓心ヨリ成ル馬蹄形トス岩質脆弱ナルニ依リ全長ニ支保工ヲ施シテ掘鑿ヲ進メ
タリ卷立工ハコンクリート配合一、二、四ヲ以テ厚三十糎、坑内路面鋪裝ハ同一配合ニテ厚七糎ヲ施セリ

坑門ハ熔岩切石又ハ割石ヲ用ヒ練積トシ坑門取合路側ハ前後取付ヲ考慮シ五分法勾配ヲ附シ練石積トセリ

其他境界コンクリート柱設置三百本等ヲ施行シ年度内全部竣功セリ

本工事ニ使用スベキ勞働者豫定人員ハ五萬七千百二十六人ニシテ年度末迄ニ使用シタル實際員數ハ町村役場又ハ町村組合紹介者六萬八百九百二十四人其他ニ依ルモノ五千八百四十六人合計七萬四千七百七十人トナレリ

本工事竣功高ハ十五萬一千百十四圓ニシテ總工費豫算十五萬三千三百九十五圓ニ比シ二千二百八十一圓ヲ剩餘セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高			本年度竣功高			合計			竣功歩合
	數	量	金	數	量	金	數	量	金	
道路橋梁					四、△〇〇 米	六八、二八九 圓		四、△〇〇 米	六八、二八九 圓	一〇〇 割分
工事費					八所	一、〇一〇 圓		八所	一、〇一〇 圓	一〇〇
工事費					二米	一、〇〇〇 圓		二米	一、〇〇〇 圓	一〇〇
工事費					一段	一、〇〇〇 圓		一段	一、〇〇〇 圓	一〇〇
土地買収						一、〇〇〇 圓			一、〇〇〇 圓	一〇〇
物件移轉						一、〇〇〇 圓			一、〇〇〇 圓	一〇〇
其他補償						一、〇〇〇 圓			一、〇〇〇 圓	一〇〇
器具機械費						一、〇〇〇 圓			一、〇〇〇 圓	一〇〇
雜費						一、〇〇〇 圓			一、〇〇〇 圓	一〇〇

第六章 失業救済工事（國道八號線（河口）改良工事）

總計	共濟組合給與金
—	—
—	—
—	—
—	—
811,191	5000
—	—
811,191	5000
22.0	—